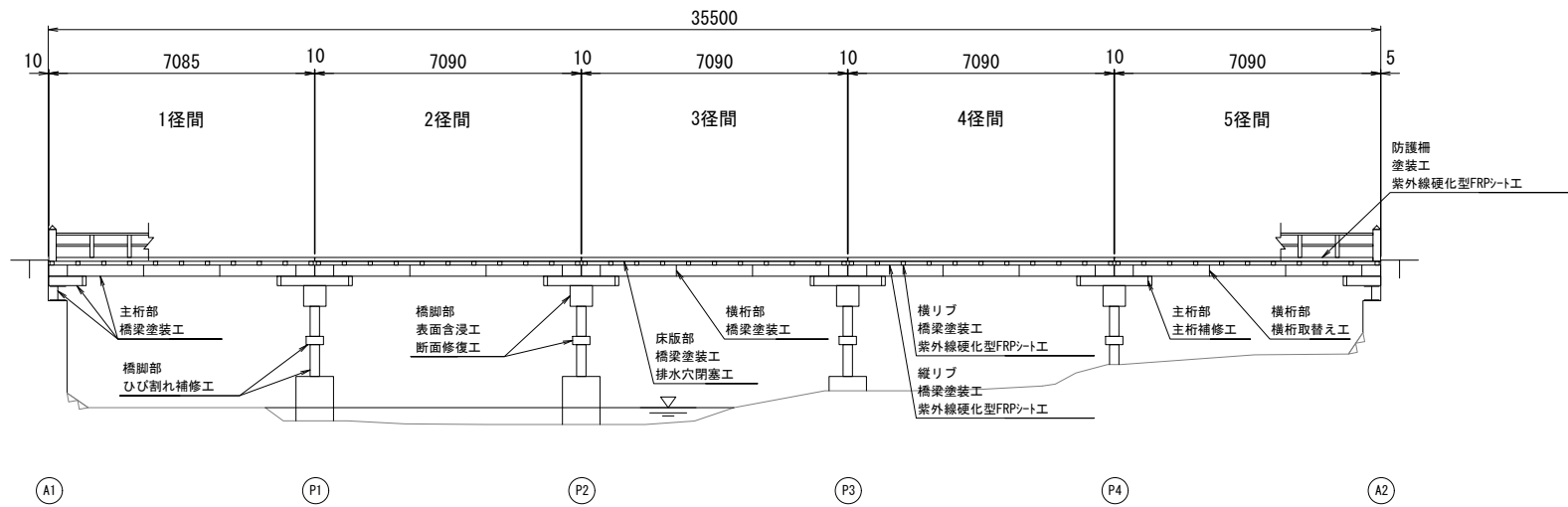
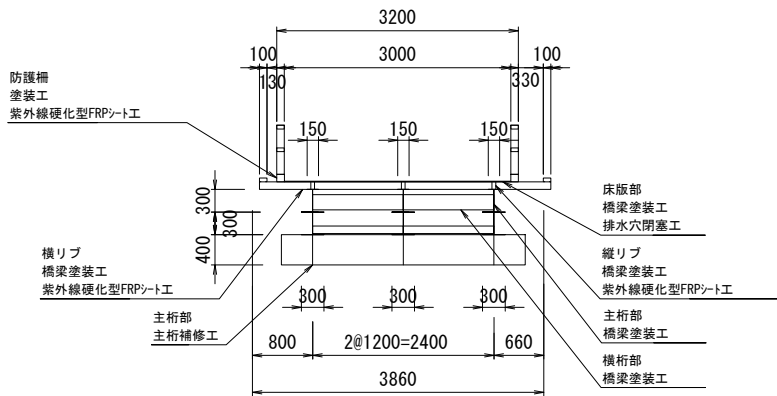


嵯峨山橋 補修一般図

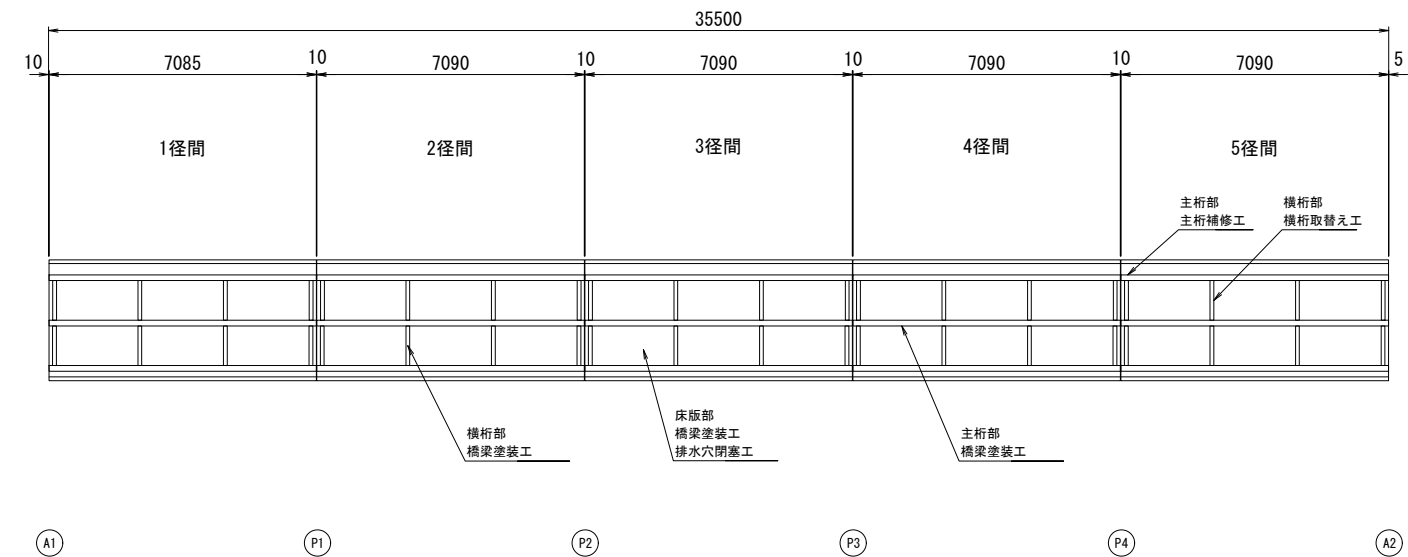
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



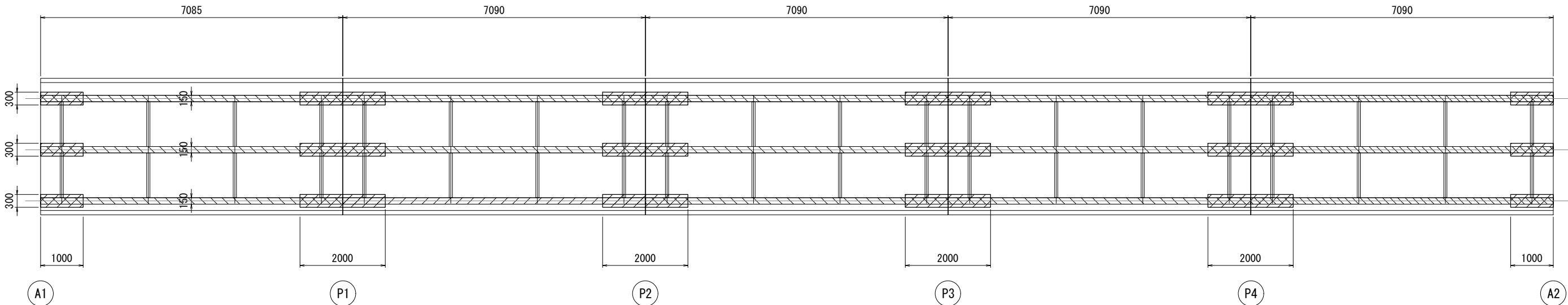
部 材 名	対 策 工
主 桁 部	主桁補修工
	橋梁塗装工
横 桁 部	横桁取替え工
	橋梁塗装工
床 版 部	橋梁塗装工
	排水穴閉塞工
橋 脚 部	ひび割れ補修工
	断面修復工
	表面含浸工
縦リブ、横リブ	橋梁塗装工
	紫外線硬化型FRPシート工
防 護 柵	塗装工
	紫外線硬化型FRPシート工

認 可 実 施	当 初	第	回変更
年 度 番 号	令和 4 年 度 道河第 29 号		
路 線 名	市道嵯峨山橋線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市鍛冶屋町		
図 面 名	嵯峨山橋 補修一般図		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 / 内 1		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

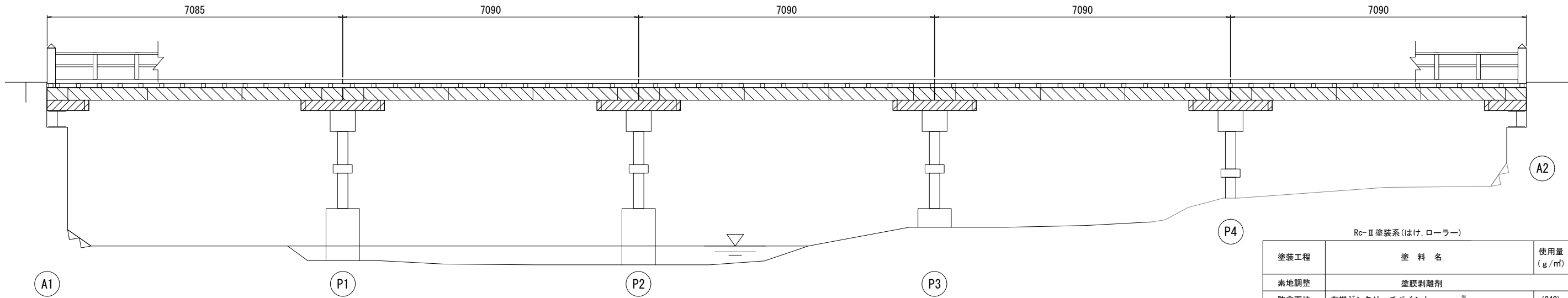
嵯峨山橋 補修図(1)

橋梁塗装工
(主桁)

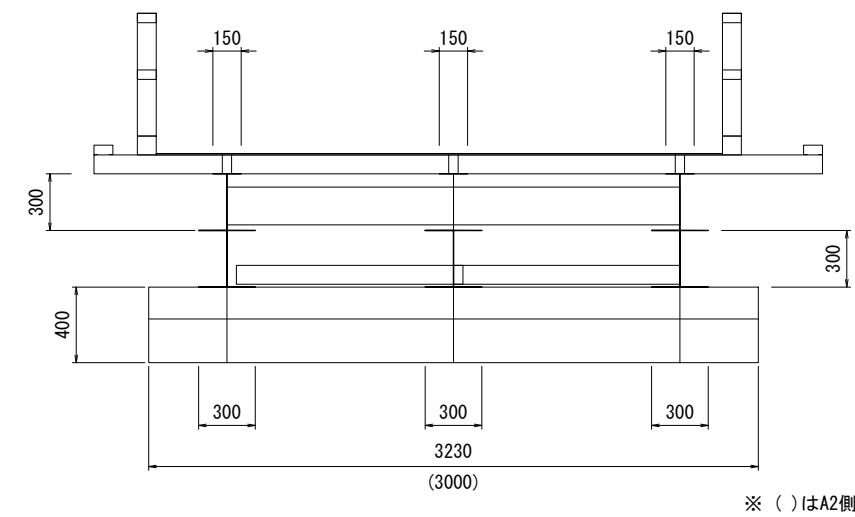
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50

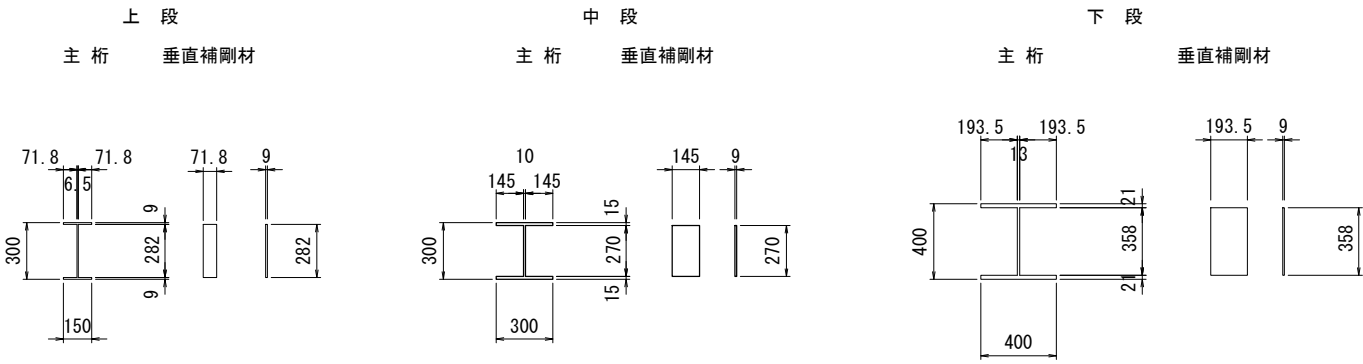


断面図 S=1:20



※ ()はA2側

断面形状 S=1:20



Rc-Ⅱ 塗装系(はけ, ローラー)		
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※	(240)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

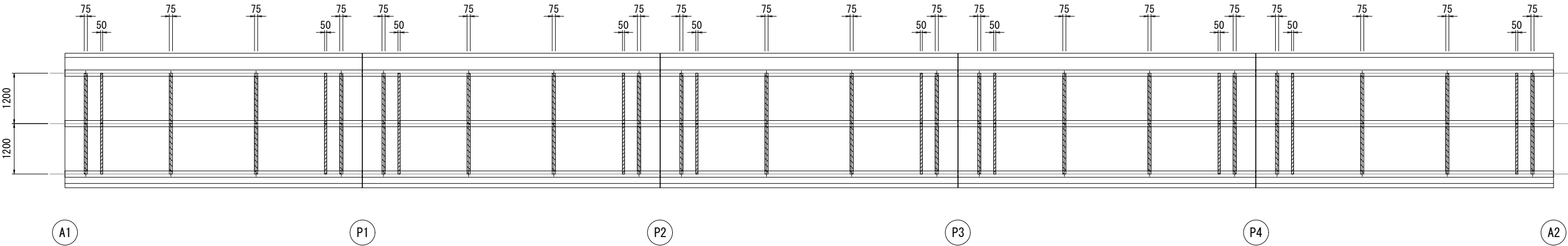
※ 素地調整は程度は2種であるが健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図(1)		
縮尺	図示		
図面番号	25 枚 / 内 2		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

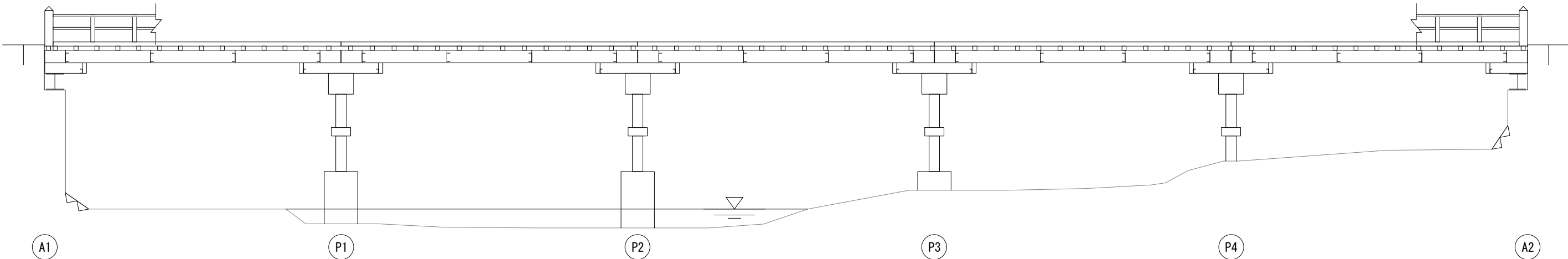
嵯峨山橋 補修図(2)

橋梁塗装工
(横桁)

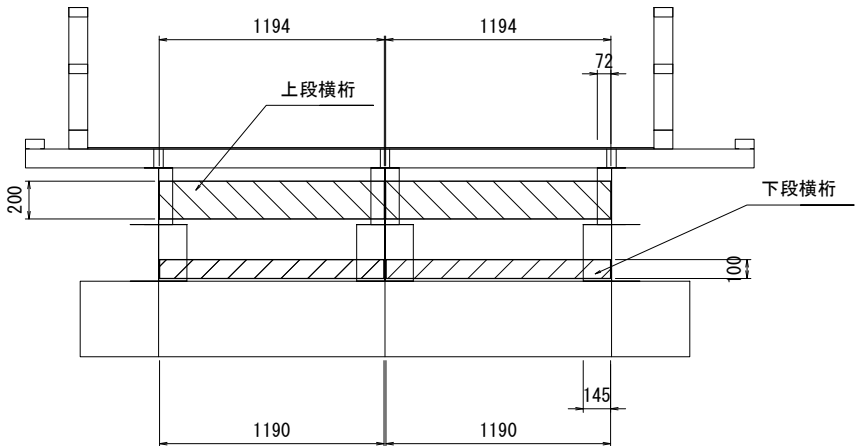
平面図 S=1:50



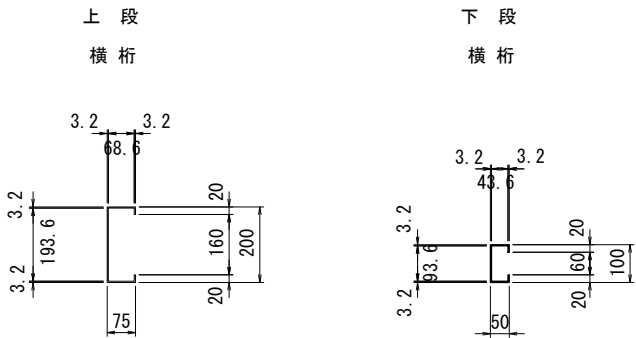
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



断面形状 S=1:10



Rc-II 塗装系 (はけ、ローラー)		
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※	(240)
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

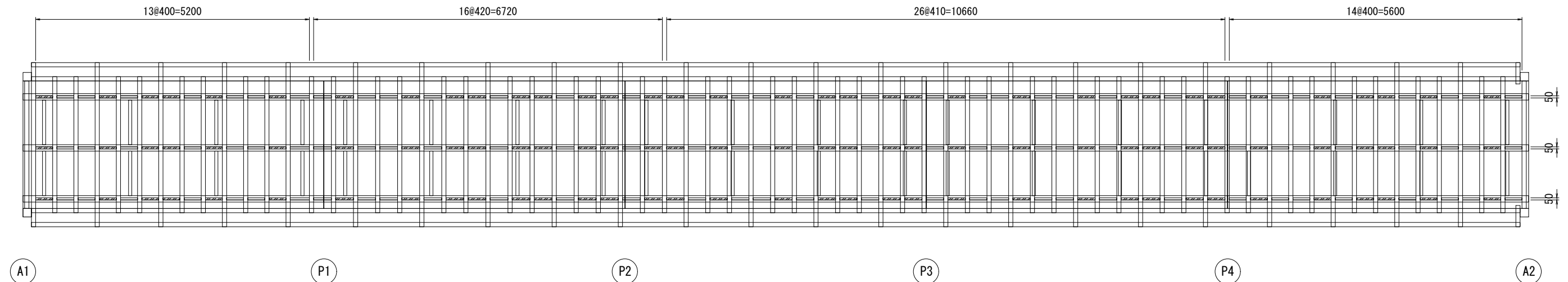
※ 素地調整は程度は2種であるが健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図(2)		
縮尺	図示		
図面番号	25 枚 / 内 3		
長浜市都市建設部道路河川課			

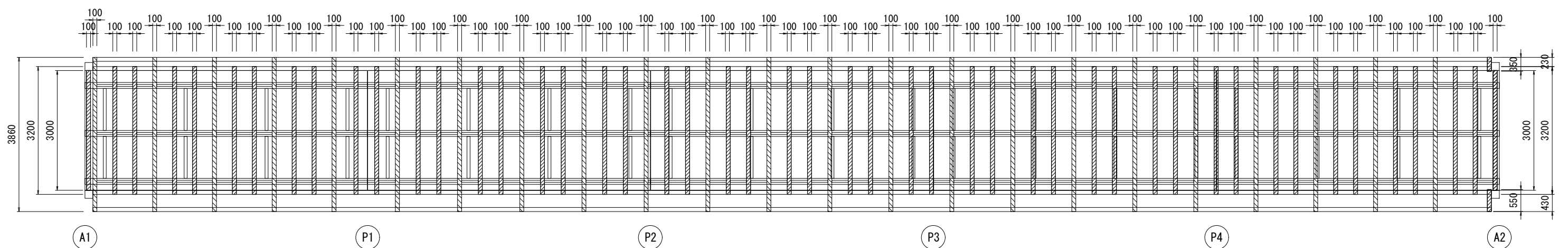
嵯峨山橋 補修図(3)

橋梁塗装工 (リブ)

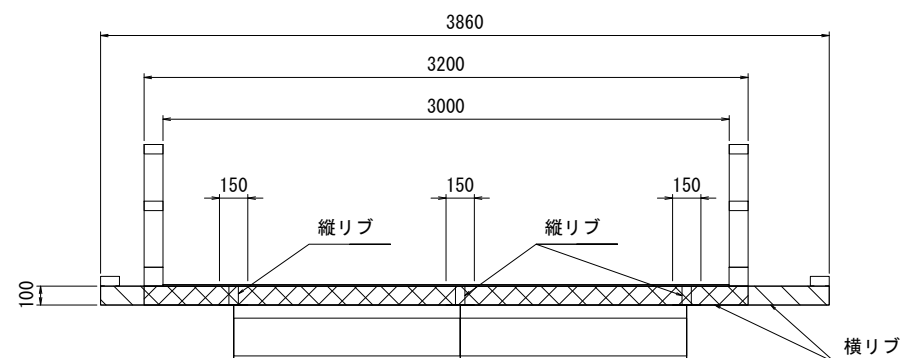
平面図(縦リブ) S=1:50



平面図(横リブ) S=1:50

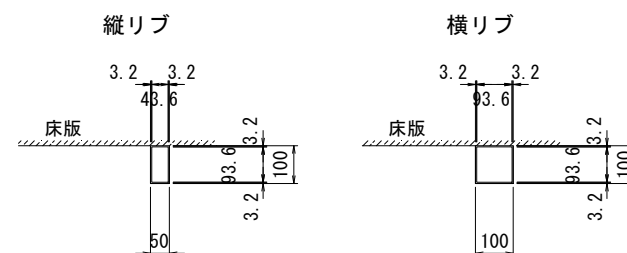


断面図 S=1:20



※ 孔食が進行している箇所は、監督員と補修方法を協議の上決定すること。

断面形状 S=1:10



Ro-II 塗装系 (はけ, ローラー)		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※	(240)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

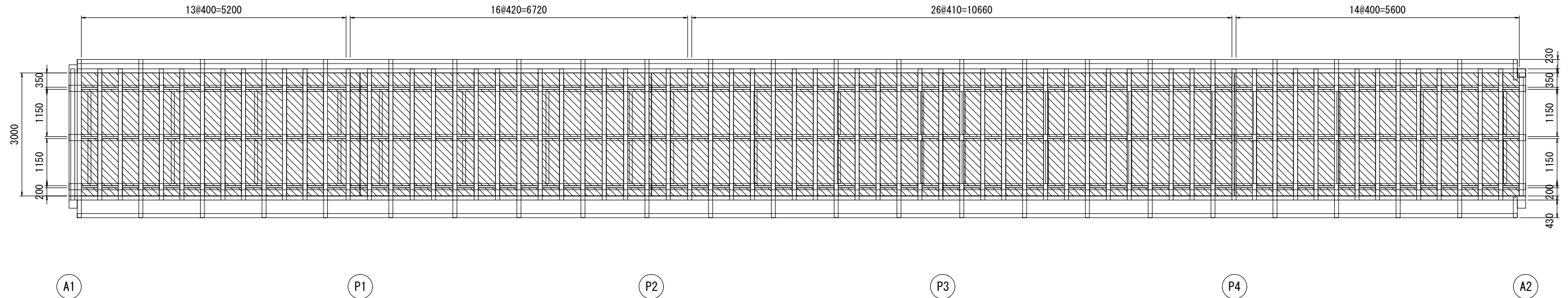
※ 素地調整は程度は2種であるが健全なジnkリッチプライマーやジnkリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジnkリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジnkリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第29号		
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図（3）		
縮尺	図示		
図面番号	25 枚 / 内 4		
長浜市都市建設部道路河川課			

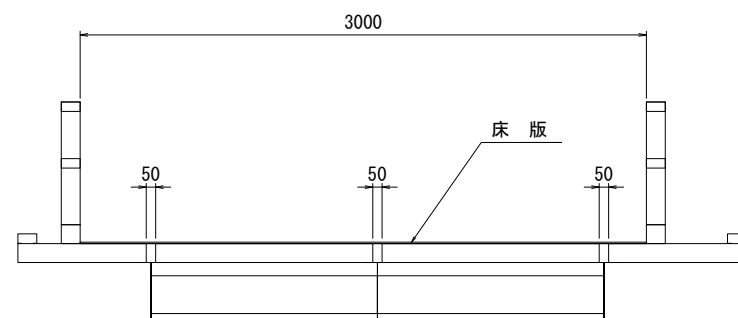
嵯峨山橋 補修図(4)

橋梁塗装工 (床版)

平面图(下面) S=1:50



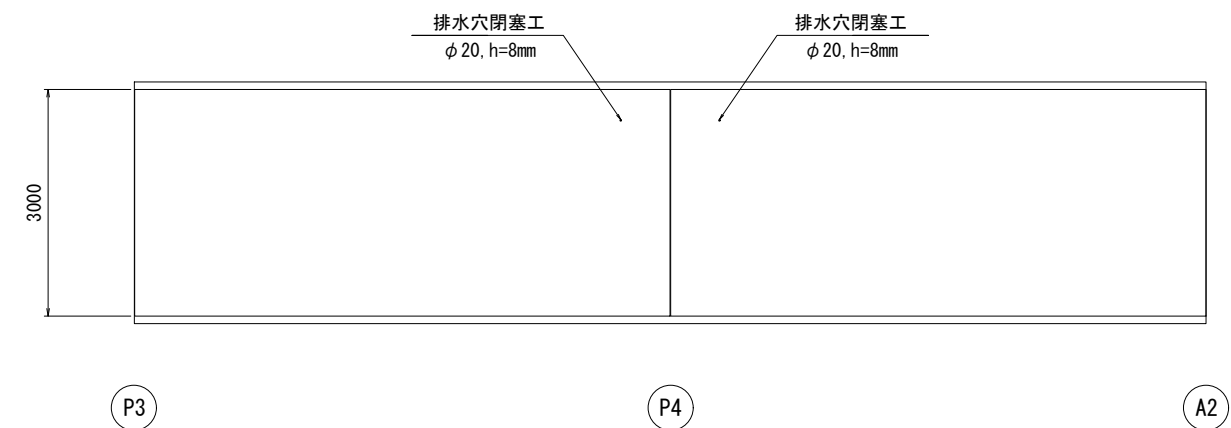
断面図 S=1:20



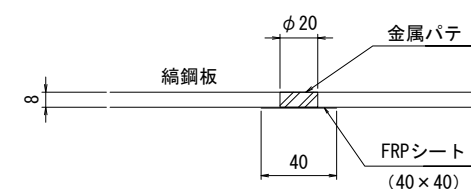
※ 孔食が進行している箇所は、監督員と補修方法を協議の上決定すること。

排水穴閉塞工 (床版)

平面图(上面) S=1:50



詳細図 S=1:2



※ 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。

Rc-Ⅱ塗装系(はけ、ローラー)		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/㎡)
素地調整	塗膜剥離剤	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ^{※1}	(240)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

※ 素地調整は程度は2種であるが健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は40g/m²程度とする。

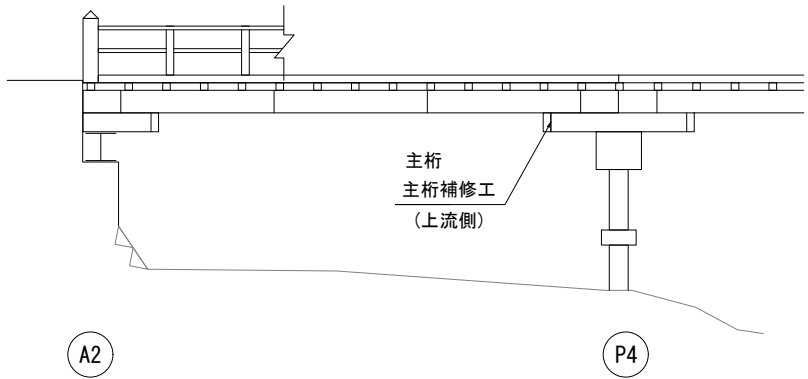
素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第29号		
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図（4）		
縮尺	図 示		
図面番号	25 枚 / 内 5		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

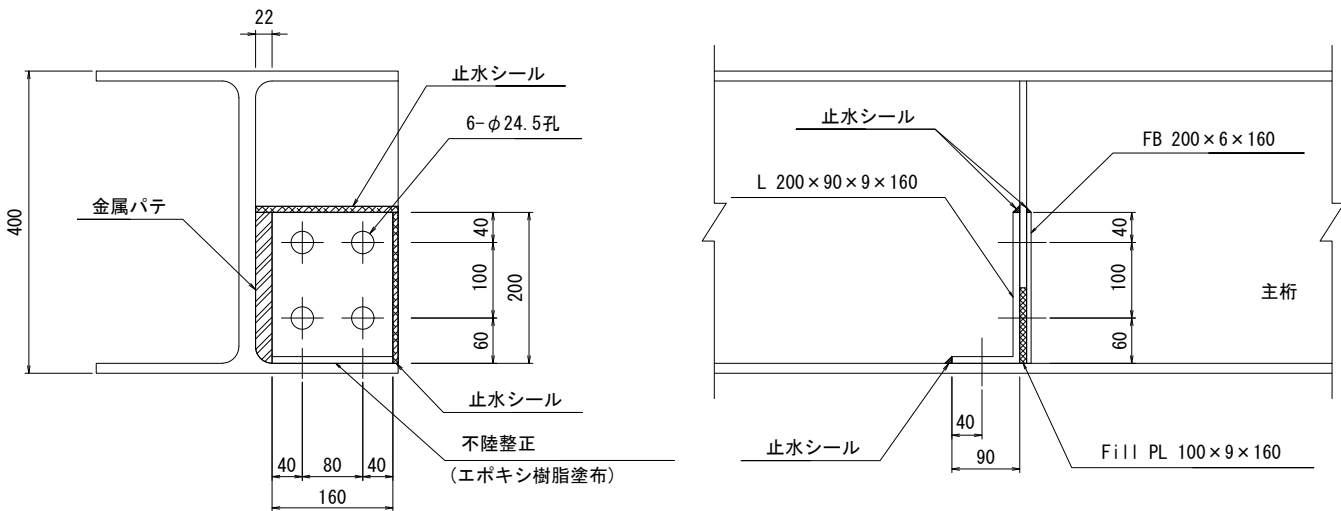
嵯峨山橋 補修図(5)

主桁補修工
(主桁)

側面図 S=1:50



詳細図 S=1:5

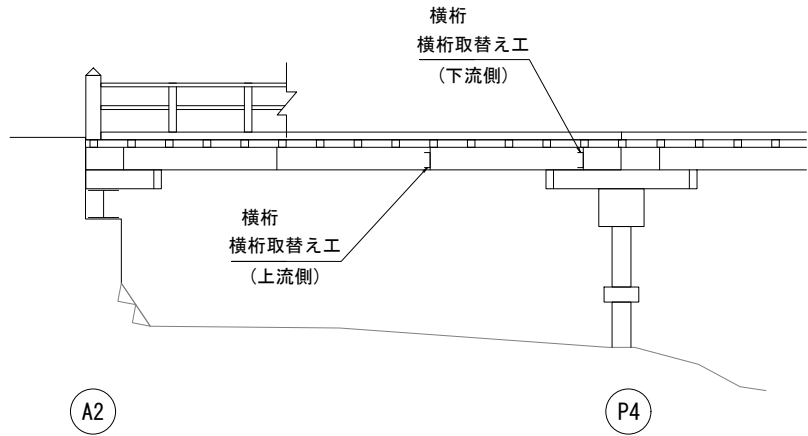


- 1-L 200x90x9x160 (SS400)
- 1-FB 200x6x160 (SS400)
- 1-Fill PL 100x9x160 (SS400)
- 6-TCB M22x70 (S10T)

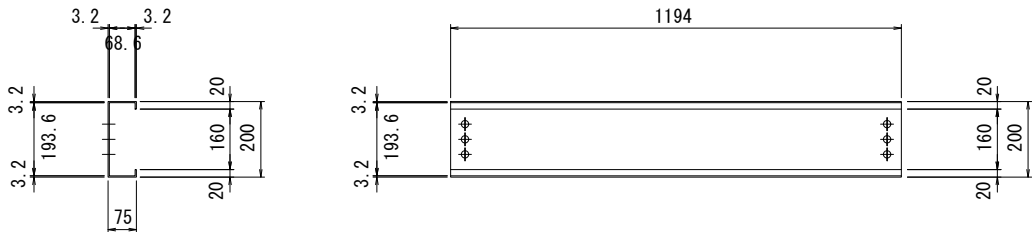
- ※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
- ※2 当て板が接する既設面は、ケレン後エポキシ樹脂系接着材を塗布し不陸整正を行う。
- ※3 母材の欠損部は、当て板前に金属バテにより断面修復を行い、出来るだけ大きな不陸を解消しておく。

横桁取替え工
(横桁)

側面図 S=1:50



断面図 S=1:10



- 1- ㇑200 x 75 x 7.5 (SS400)
- 6-TCB M22 x 70 (S10T)

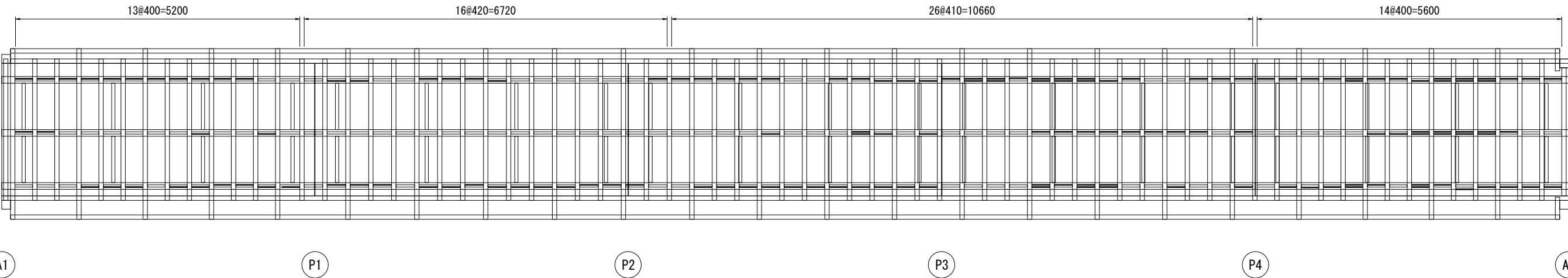
※ 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図(5)		
縮尺	図示		
図面番号	25 枚 / 内 6		
長浜市都市建設部道路河川課			

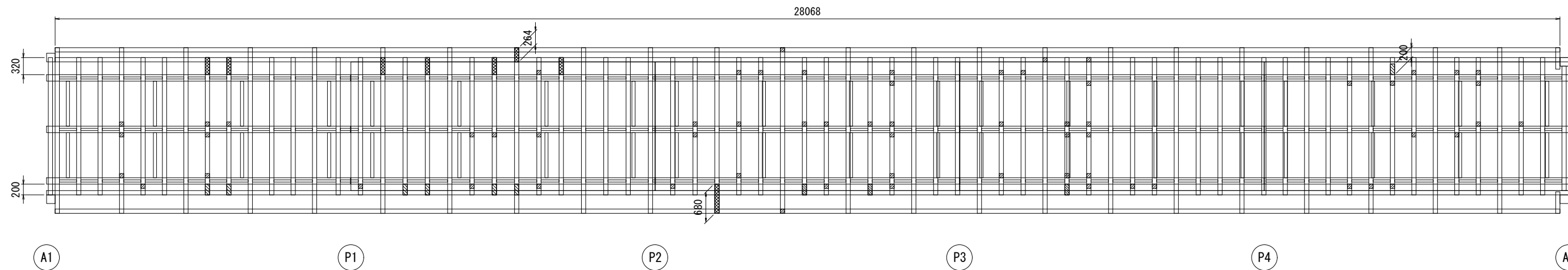
嵯峨山橋 補修図(6)

紫外線硬化型FRPシート工
(縦リブ, 横リブ)

平 面 図(縦リブ) S=1:50

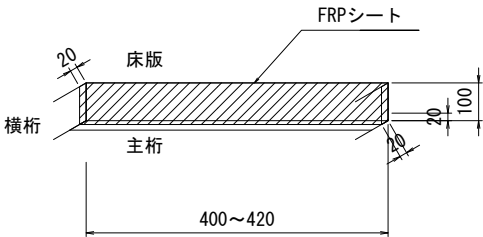


平 面 図(横リブ) S=1:50

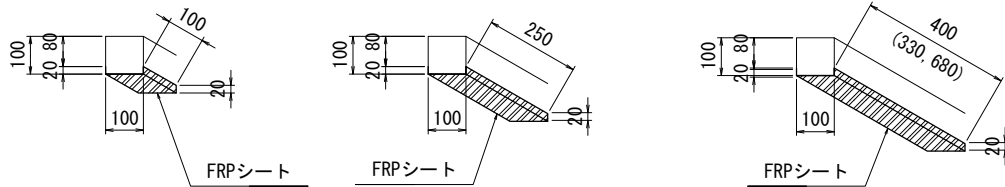


詳 細 図 S=1:10

縦リブ



横リブ



縦リブ、横リブ塗替え (FRPシート張り部)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤+3種	
上 塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗り	110

鋼材内側仕様

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3 種	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)

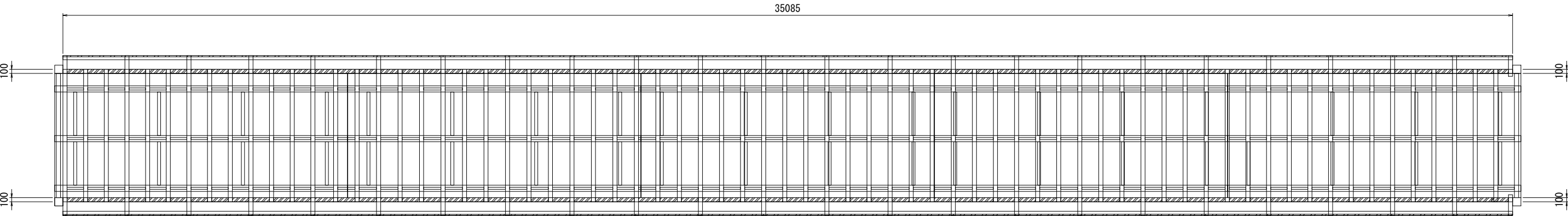
※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
※2 孔食箇所は、FRPシート張りで補修を行うこと。
孔食箇所の内側に腐食がある場合は、錆を除去後に防食処理を行った後にFRPシートを張ること。

認 可 実 施	当 初	第 回変更
年 度 番 号	令 和 4 年 度	道 河 第 29 号
路 線 名	市 道 嵯 峨 山 橋 線	
工 事 名	橋 梁 (嵯 峨 山 橋 他) 補 修 工 事	
地 名	長 浜 市 鍛 冶 屋 町	
図 面 名	嵯 峨 山 橋 補 修 図 (6)	
縮 尺	図 示	
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 7	
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課		

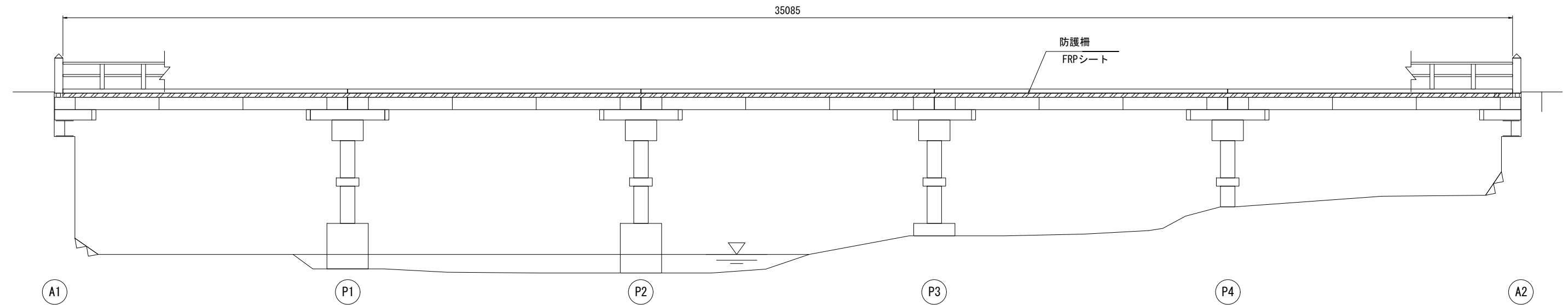
嵯峨山橋 補修図(7)

紫外線硬化型FRPシート工
(防護柵)

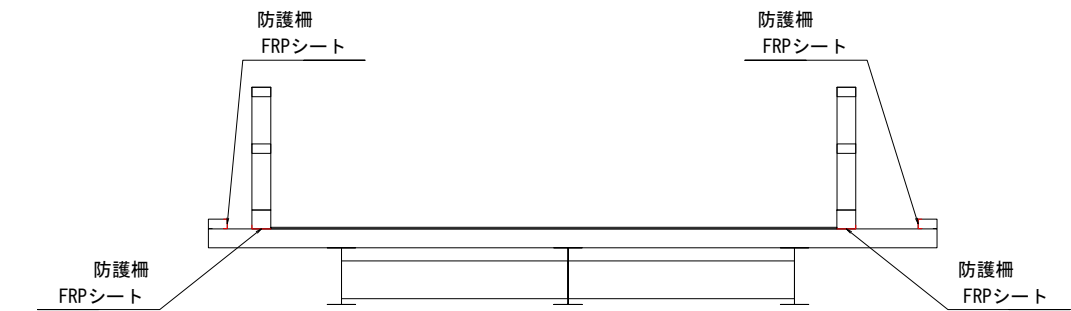
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50

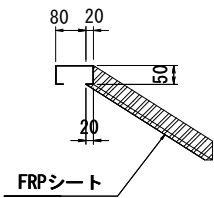
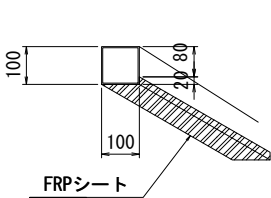


断面図 S=1:20



断面形状 S=1:10

防護柵



防護柵塗替え (FRPシート張り部)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤+3種	
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗り	110

鋼材内側仕様

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3種	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)

※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。

※2 孔食箇所は、FRPシート張りで補修を行うこと。

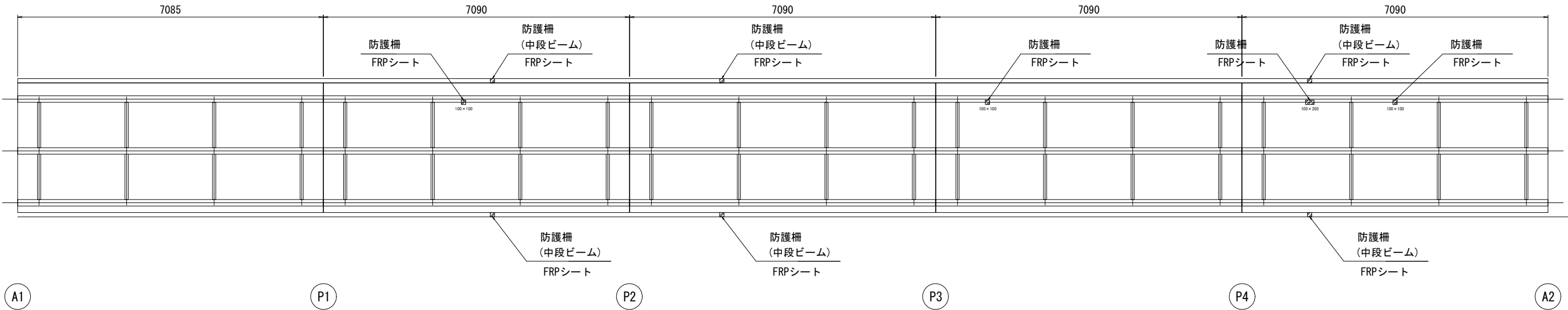
孔食箇所の内側に腐食がある場合は、錆を除去後に防食処理を行った後にFRPシートを張ること。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図(7)		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内8		
長浜市都市建設部道路河川課			

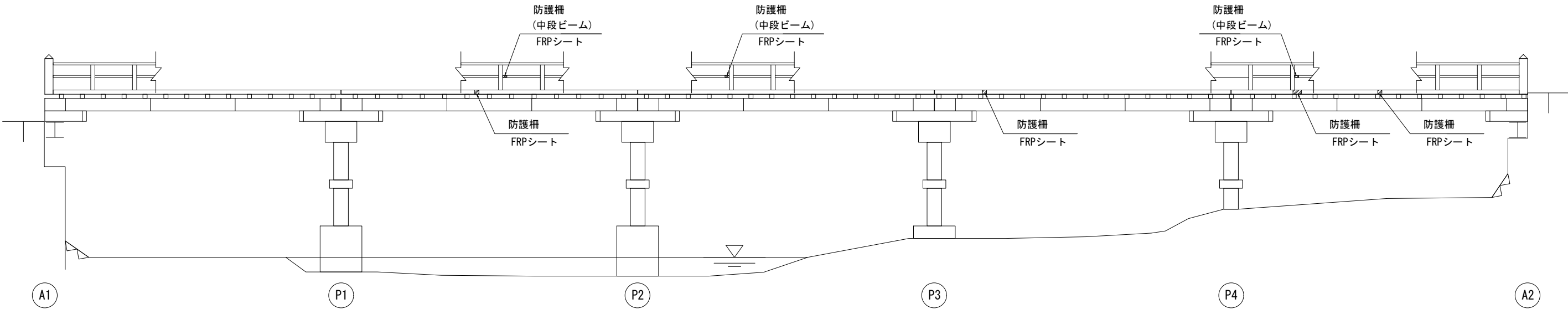
嵯峨山橋 補修図(8)

紫外線硬化型FRPシート工
(防護柵中段ビーム)

平面図 S=1:50



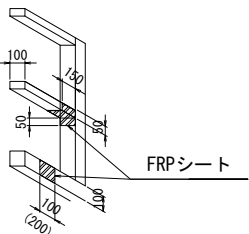
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



補修箇所詳細図 S=1:20



防護柵塗替え (FRPシート張り部)		
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤+3種	
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗り	110

鋼材内側仕様		
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3種	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)

※1 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
※2 孔食箇所は、FRPシート張りで補修を行うこと。
孔食箇所の内側に腐食がある場合は、錆を除去後に防食処理を行った後にFRPシートを張ること。

凡例
FRPシート張り部

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道嵯峨山橋線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市鍛冶屋町		
図面名	嵯峨山橋 補修図(8)		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内9		
長浜市都市建設部道路河川課			

ひび割れ補修工
(橋脚)

下段梁下面

終点側

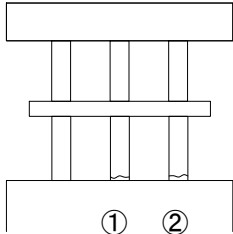


③

起点側

P1橋脚

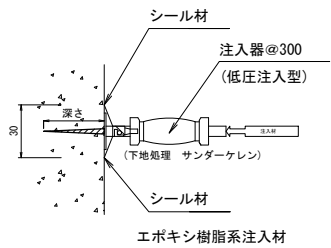
起点側



①

②

ひび割れ補修工



※1 注入作業はシーリング材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧でかつ低速で注入すること。

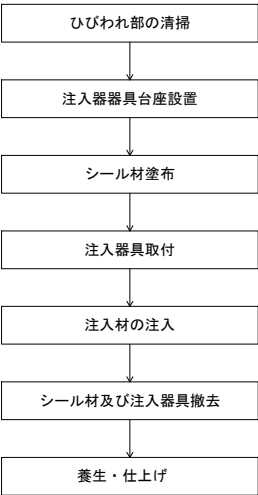
※2 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シーリング材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

※3 施工箇所が湿潤状態である場合には、湿潤用エポキシ樹脂を使用すること。

ひびわれ注入工

番号	幅 (mm)	長さ (mm)	備 考
①	0.50	500	エポキシ樹脂3種
②	0.40	350	〃
③	0.50	300	〃
合 計	長さ(m)		
	1.150		

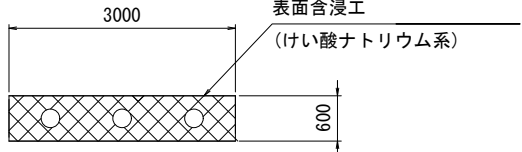
施工手順(参考)



表面含浸工
(橋脚)

橋脚

上段梁



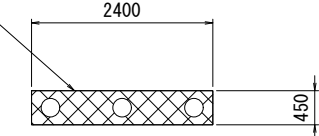
表面含浸工

(けい酸ナトリウム系)

下段梁

表面含浸工

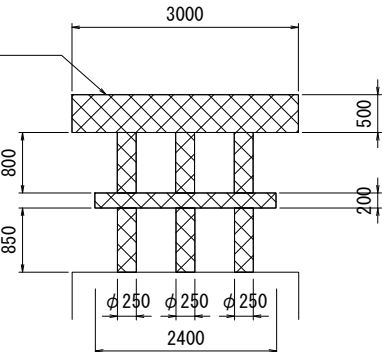
(けい酸ナトリウム系)



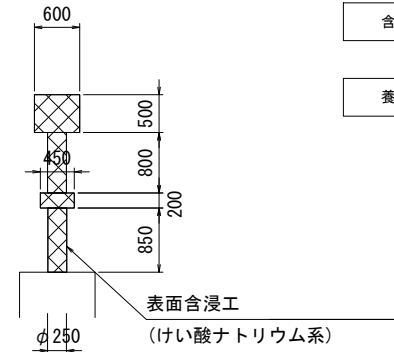
正 面

表面含浸工

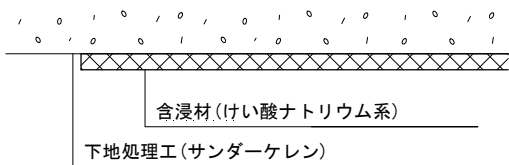
(けい酸ナトリウム系)



側 面



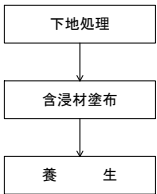
表面含浸工 断面図



※1 含浸材を塗布するときは、下地処理を十分に行うこと。

※2 断面修復工の範囲と含浸材塗布範囲は、基本ラップしない。

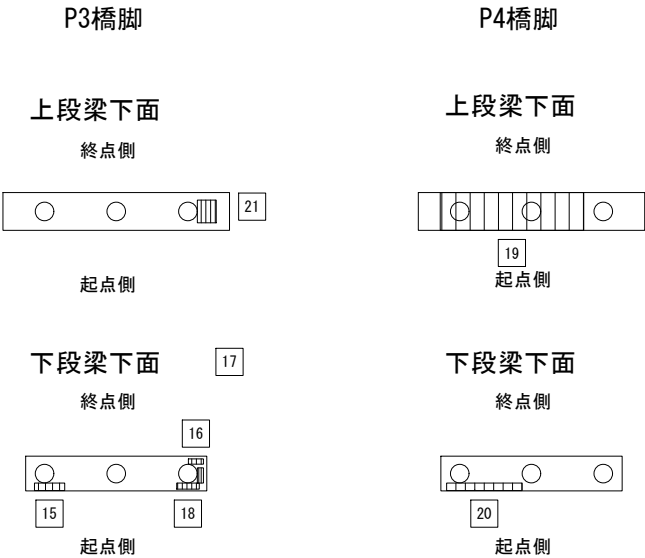
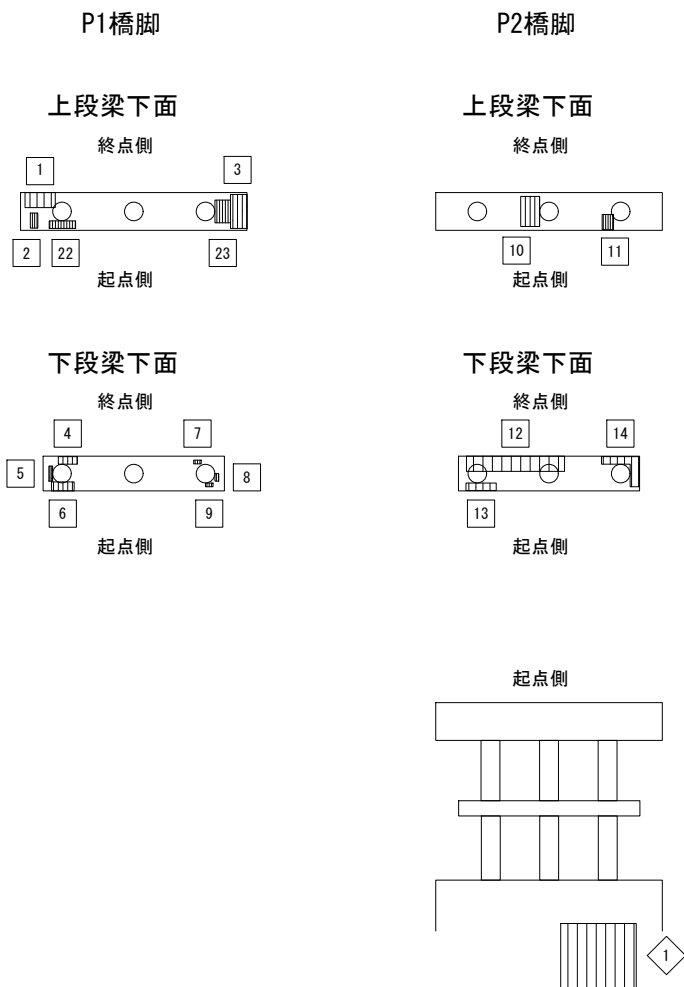
施工手順(参考)



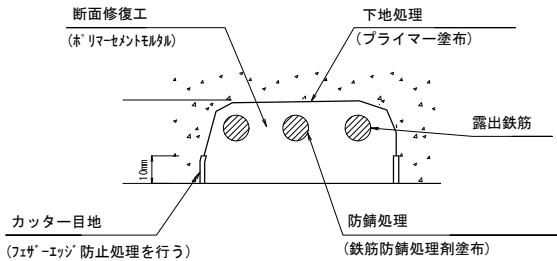
認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 29 号		
路 線 名	市道嵯峨山橋線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市鍛冶屋町		
図 面 名	嵯峨山橋 補修図（9）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 / 内 10		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

嵯峨山橋 補修図(10) S=1:50

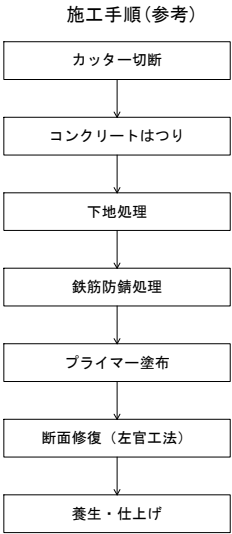
断面修復工
(橋脚)



断面修復工



- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないように周囲にコンクリートカッターより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、豆板部ようき、脆弱部分をはつきり鉄筋が見えた場合は、鉄筋防食処理後、欠損断面を補修する。
- ※4 鋼材露出部は、はつきり後、鉄筋の防食処理を入念に行った後、断面修復を行う。



断面修復工

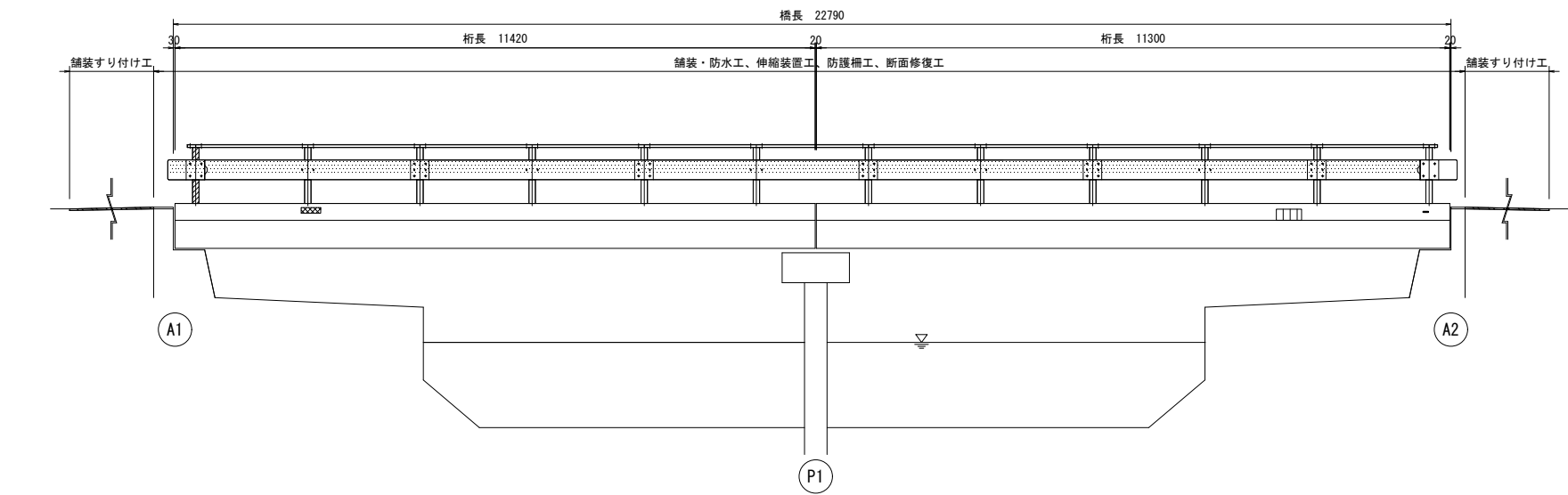
【剥離・鉄筋露出】		【うき】			
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (㎡)	体積 (㎥)	備 考	
				カッター目地	材 料
1	200 × 400 × 60	0.080	0.00480	片 側	ホリマセメントモルタル
2	200 × 100 × 60	0.020	0.00120	両 側	〃
3	450 × 250 × 60	0.113	0.00678	〃	〃
4	250 × 100 × 60	0.025	0.00150	〃	〃
5	200 × 50 × 60	0.010	0.00060	両 側	〃
6	300 × 120 × 60	0.036	0.00216	片 側	〃
7	100 × 50 × 60	0.005	0.00030	両 側	〃
8	50 × 100 × 60	0.005	0.00030	〃	〃
9	100 × 50 × 60	0.005	0.00030	〃	〃
10	450 × 250 × 60	0.113	0.00678	片 側	〃
11	150 × 200 × 60	0.030	0.00180	〃	〃
12	200 × 1300 × 60	0.260	0.01560	〃	〃
13	100 × 400 × 60	0.040	0.00240	〃	〃
14	400 × 500 × 60	0.200	0.01200	〃	〃
15	400 × 100 × 60	0.040	0.00240	〃	〃
16	200 × 70 × 60	0.014	0.00084	〃	〃
17	200 × 80 × 60	0.016	0.00096	〃	〃
18	300 × 80 × 60	0.024	0.00144	〃	〃
19	1900 × 600 × 60	1.140	0.06840	〃	〃
20	1000 × 100 × 60	0.100	0.00600	〃	〃
21	250 × 300 × 60	0.075	0.00450	〃	〃
22	350 × 100 × 60	0.035	0.00210	〃	〃
23	300 × 250 × 60	0.075	0.00450	両 側	〃
合 計		2.461	0.14766	〃	〃
【欠損】					
1	1000 × 800 × 300	0.800	0.24000	両 側	ホリマセメントモルタル

断面修復工(ホリマセメントモルタル)

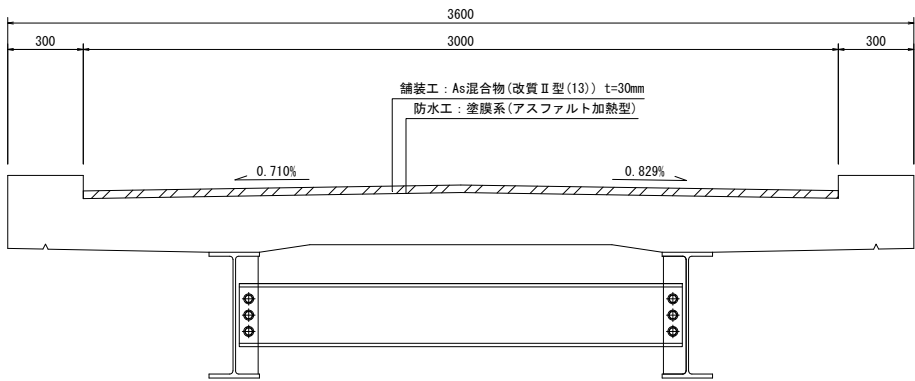
認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 29 号		
路 線 名	市道嵯峨山橋線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市鍛冶屋町		
図 面 名	嵯峨山橋 補修図（10）		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 11		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

五号橋 補修工一般図

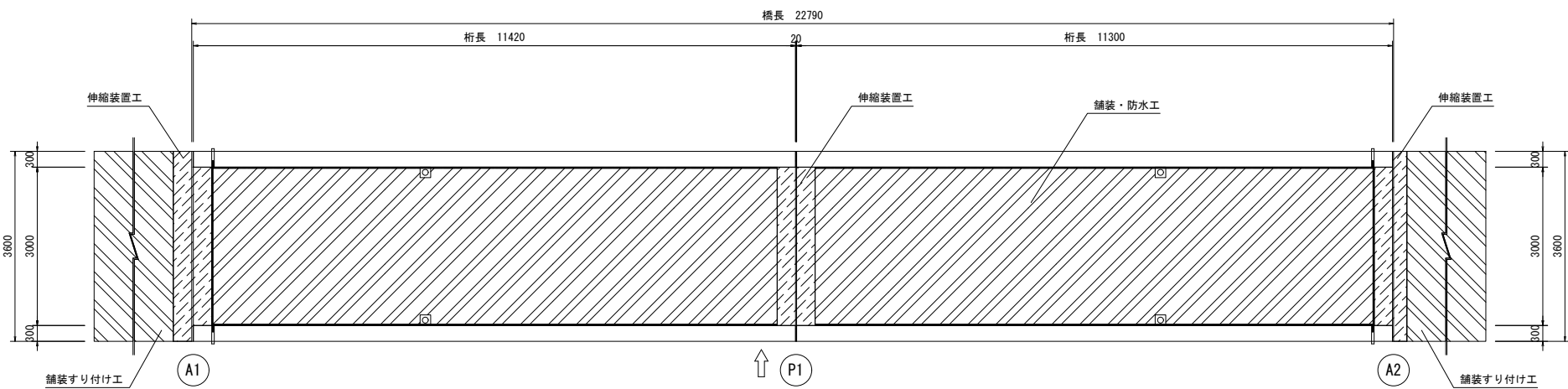
側面図 S=1:60



橋面図

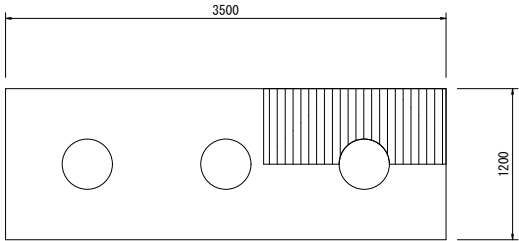


橋面図 S=1:60

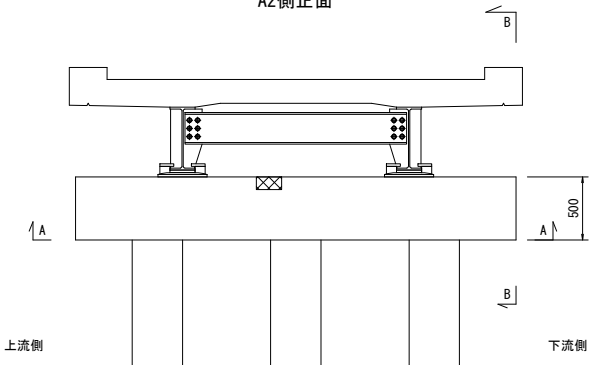


下部工 S=1:30

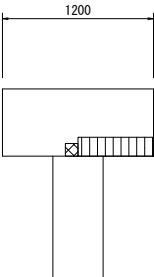
A-A



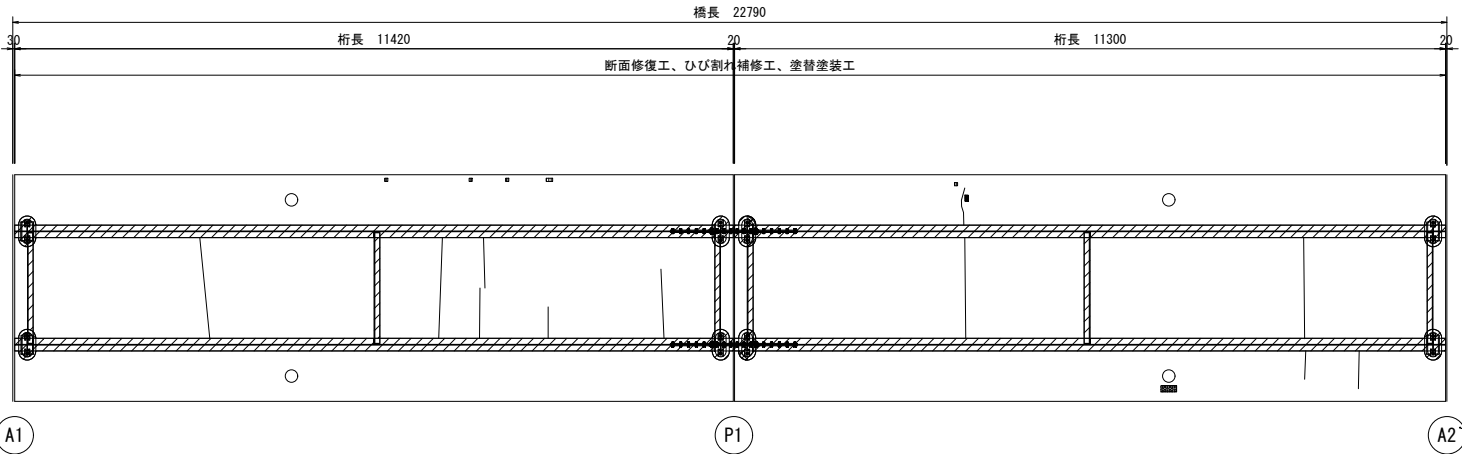
A2側正面



B-B



桁下面図 S=1:60



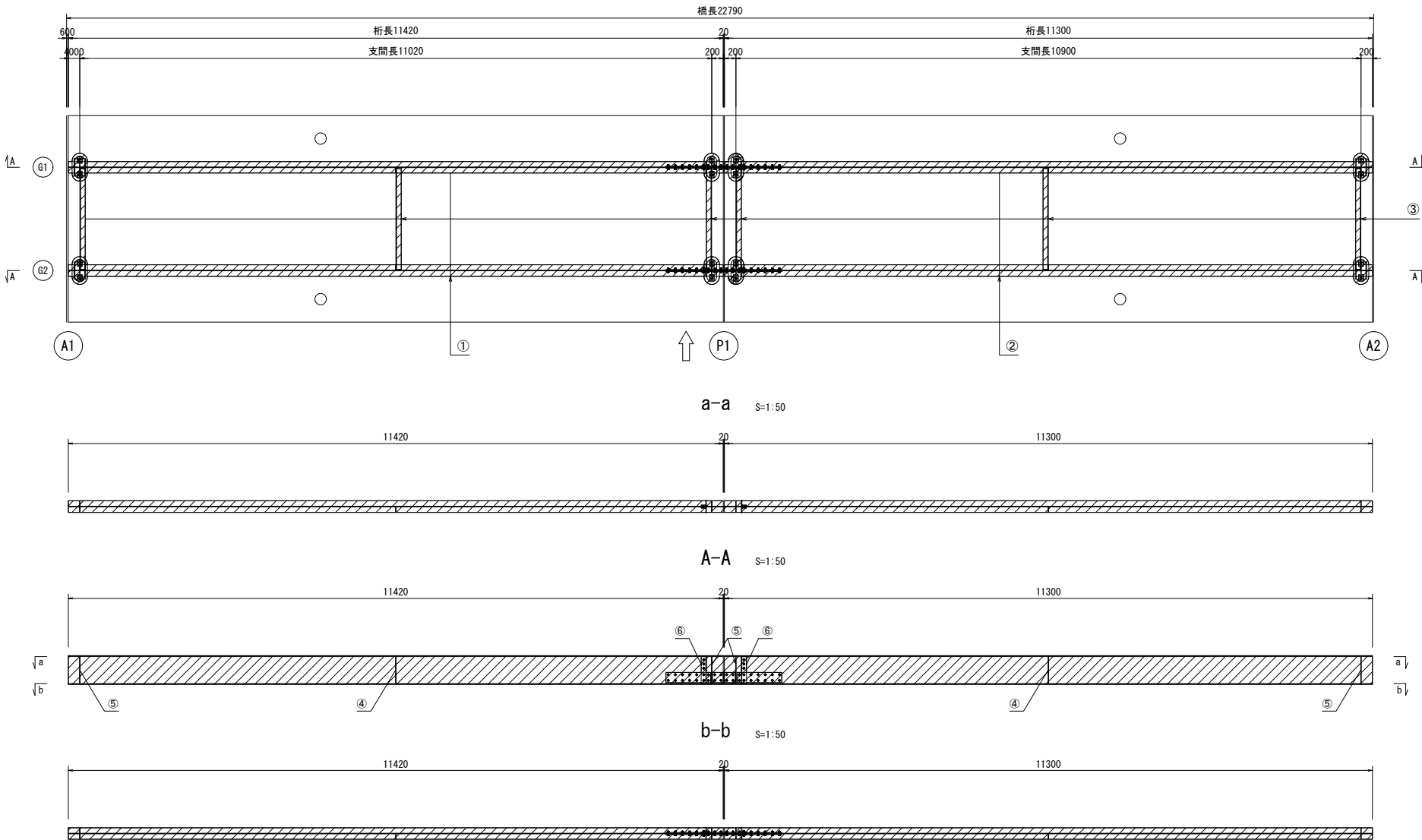
凡例

記号	工種	補修部位
	舗装・防水工	橋面車道部
	舗装すり付け工	現道すり付け部
	断面修復工(鉄筋露出)	床版
	断面修復工(うき)	地覆側面
	断面修復工(断面欠損)	地覆側面、P1橋脚
	断面修復工(豆板)	床版
	伸縮装置工	A1、P1、A2上遊間部
	防護柵補修工	上・下流側防護柵笠木・ビーム
	塗替塗装工	上・下流側防護柵支柱

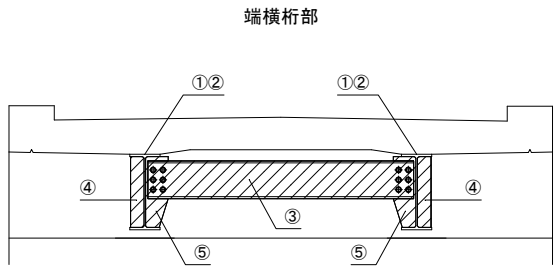
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市益田町・安養寺町		
図面名	五号橋 補修工一般図		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内12		
長浜市都市建設部道路河川課			

五号橋 塗替塗装工図

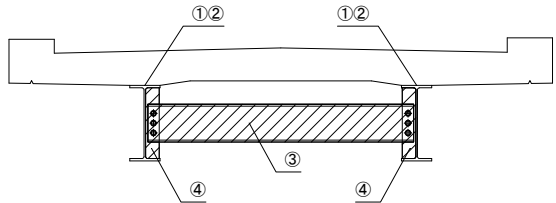
桁下面図 S=1:50



断面図



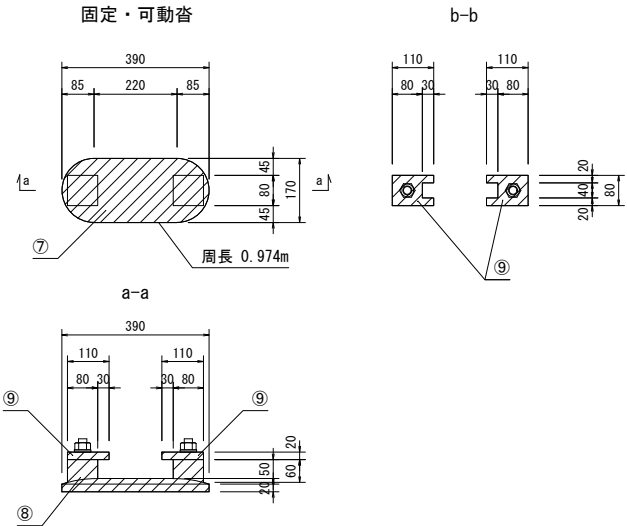
中間横桁部



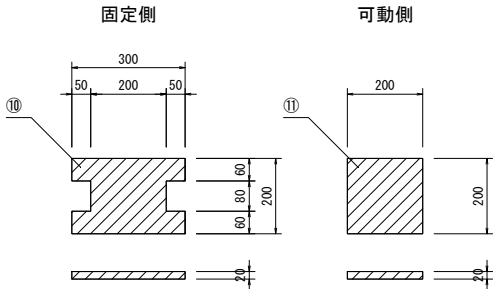
凡例)
塗替塗装工(腐食・防食機能の劣化)

- ① 2-H 500×200×10×16×11420
10-HTB M20×95
24-HTB M20×75
② 2-H 500×200×10×16×11300
10-HTB M20×95
24-HTB M20×75
③ 6- 250×90×9×13×1760
60-HTB M20×55
④ 12-PL 90×9×468
⑤ 8-PL 150×9×468 (NET 92%)
⑥ 8-L 90×90×10×10×468

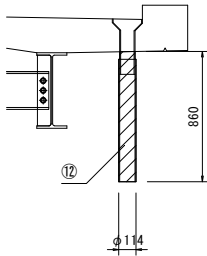
支承構造図 S=1:10



ソールプレート構造図 S=1:10



排水管 S=1:20



塗装仕様

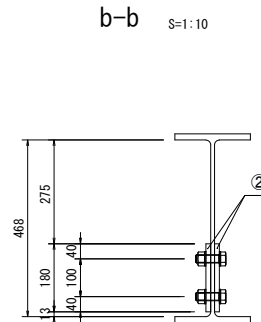
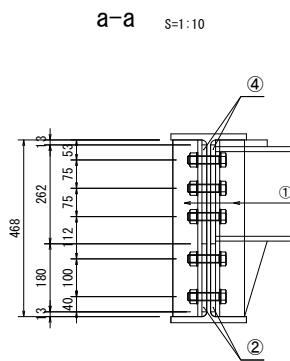
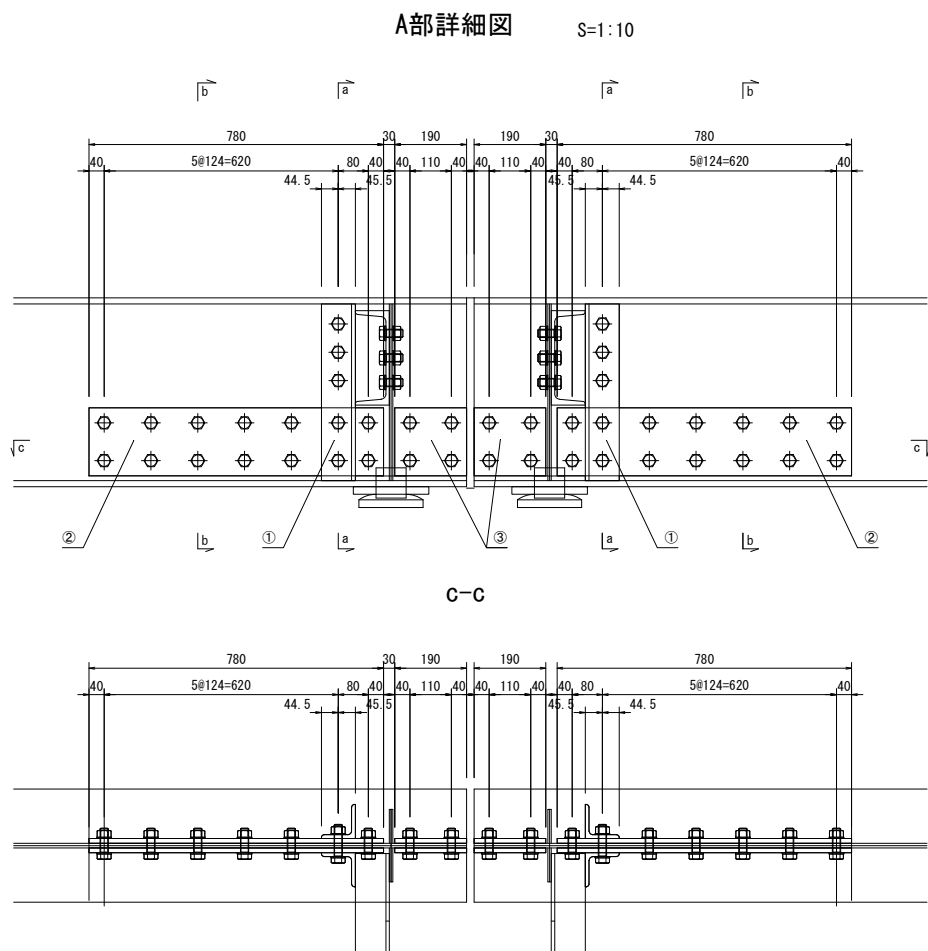
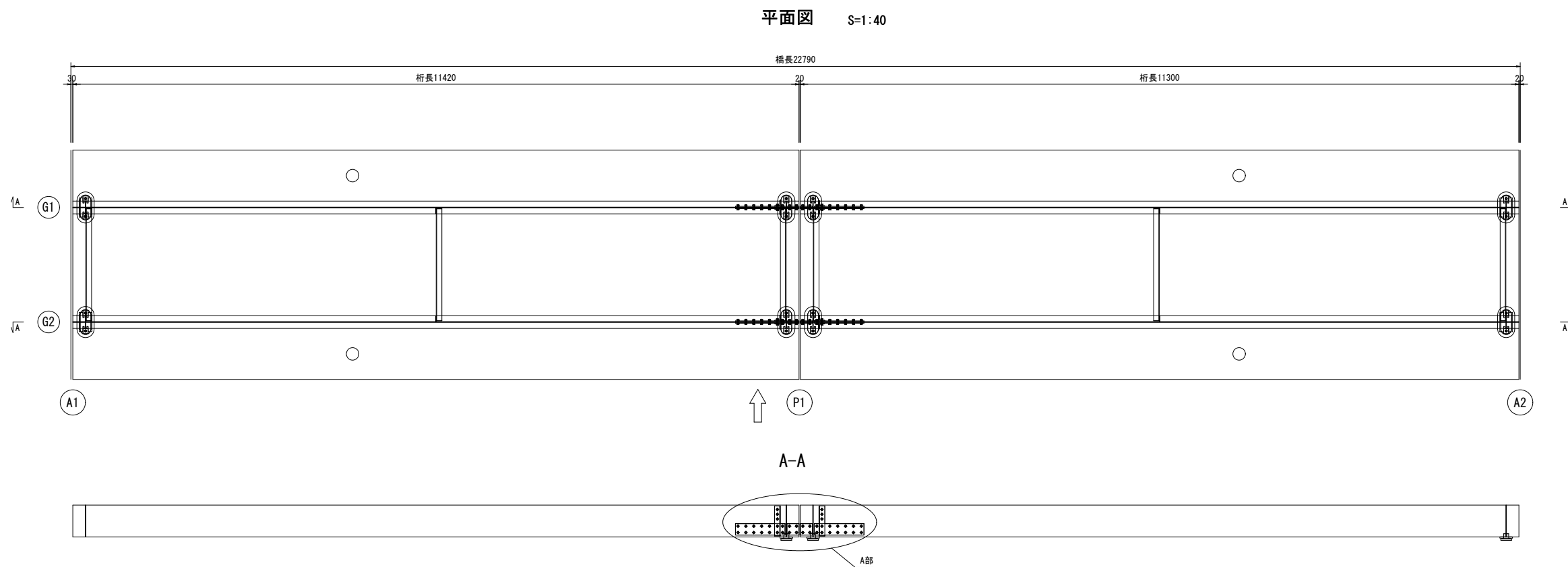
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種ケレン(循環式エコクリーンプラスト工法)		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッジペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

数量表

工 種	仕 様	単位	数量	摘要
塗装塗替工	Rc-I 塗装系	m ²	86	

認 可 実 施	当 初 第 回変更
年 度 番 号	令和4年度 道河第29号
路 線 名	市道益田堂建線
工 事 名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事
地 名	長浜市益田町・安養寺町
図 面 名	五号橋 塗替塗装工図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	25 枚 / 内 13
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課	

五号橋 主桁補強工図



- ① 8-L 90×90×10×10×468
20-HTB M20×95
- ② 8-PL 180×13×780
48-HTB M20×75
- ③ 8-PL 180×13×190
16-HTB M20×75
- ④ 8-PL 90×13×262

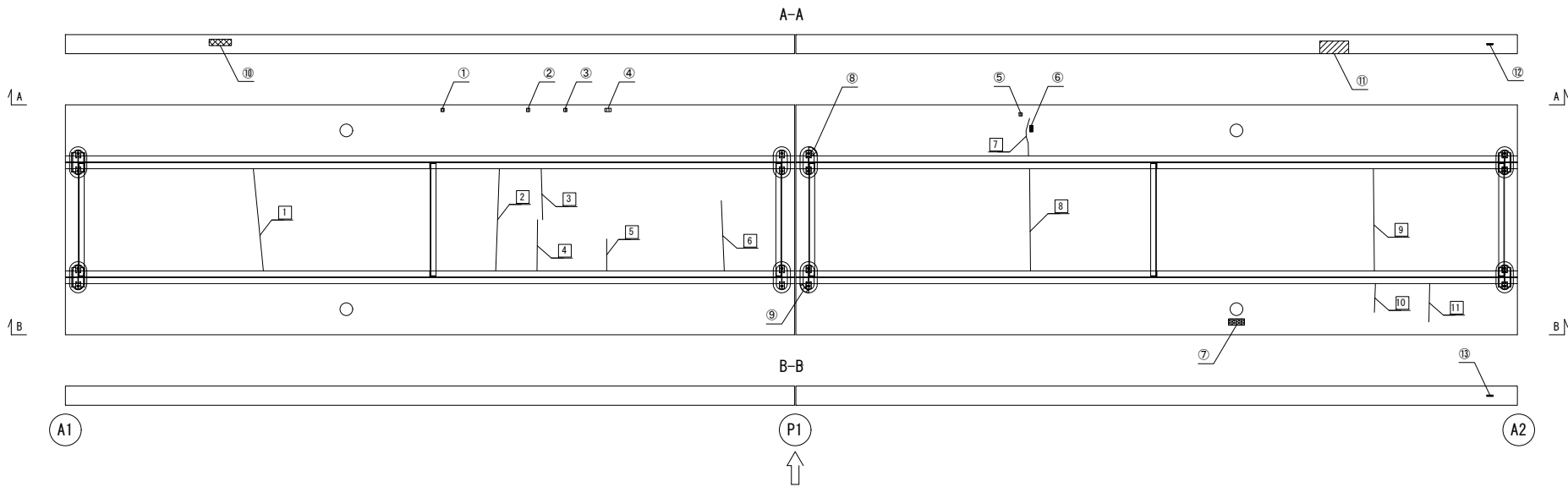
注) 1. 図中詳細寸法及び取付位置は、現地
実測の上、決定すること。

2. 特記なき材質は、すべてSS400とする。

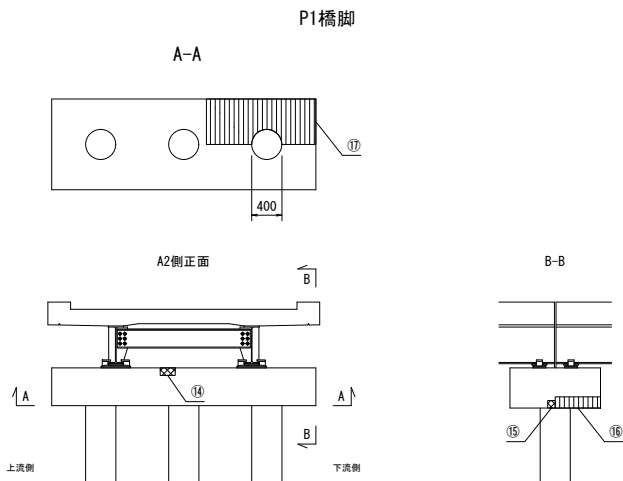
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市益田町・安養寺町		
図面名	五号橋 主桁補強工図		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内14		
長浜市都市建設部道路河川課			

五号橋 補修工図（その１）

上部工 S=1:50



下部工 S=1:50



- 凡例)
- 断面修復工(鉄筋露出)
 - 断面修復工(豆板)
 - 断面修復工(断面欠損)
 - 断面修復工(断面欠損)
 - ひび割れ補修工

断面修復工(上部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
1	50	50	60
2	50	50	60
3	50	50	60
4	50	100	60
5	50	50	60
6	50	100	20
7	100	250	20
8	150	150	30
9	150	150	30
10	100	350	30
11	200	450	60
12	20	100	100
13	20	100	100

断面修復工(下部工)

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
14	100	200	50
15	100	100	50
16	150	600	70
17	600	1450	95

ひび割れ注入工(上部工)

No	幅 W(mm)	延長 L(mm)	深さ t(mm)	備考
1	0.2	1600	100.0	注入材
	30.0	1600	2.0	シーリング材
2	0.2	1600	100.0	注入材
	30.0	1600	2.0	シーリング材
3	0.2	800	100.0	注入材
	30.0	800	2.0	シーリング材
4	0.2	800	100.0	注入材
	30.0	800	2.0	シーリング材
5	0.2	500	100.0	注入材
	30.0	500	2.0	シーリング材
6	0.2	1100	100.0	注入材
	30.0	1100	2.0	シーリング材
7	0.2	600	100.0	注入材
	30.0	600	2.0	シーリング材
8	0.2	1600	100.0	注入材
	30.0	1600	2.0	シーリング材
9	0.2	1600	100.0	注入材
	30.0	1600	2.0	シーリング材
10	0.2	450	100.0	注入材
	30.0	450	2.0	シーリング材
11	0.2	600	100.0	注入材
	30.0	600	2.0	シーリング材

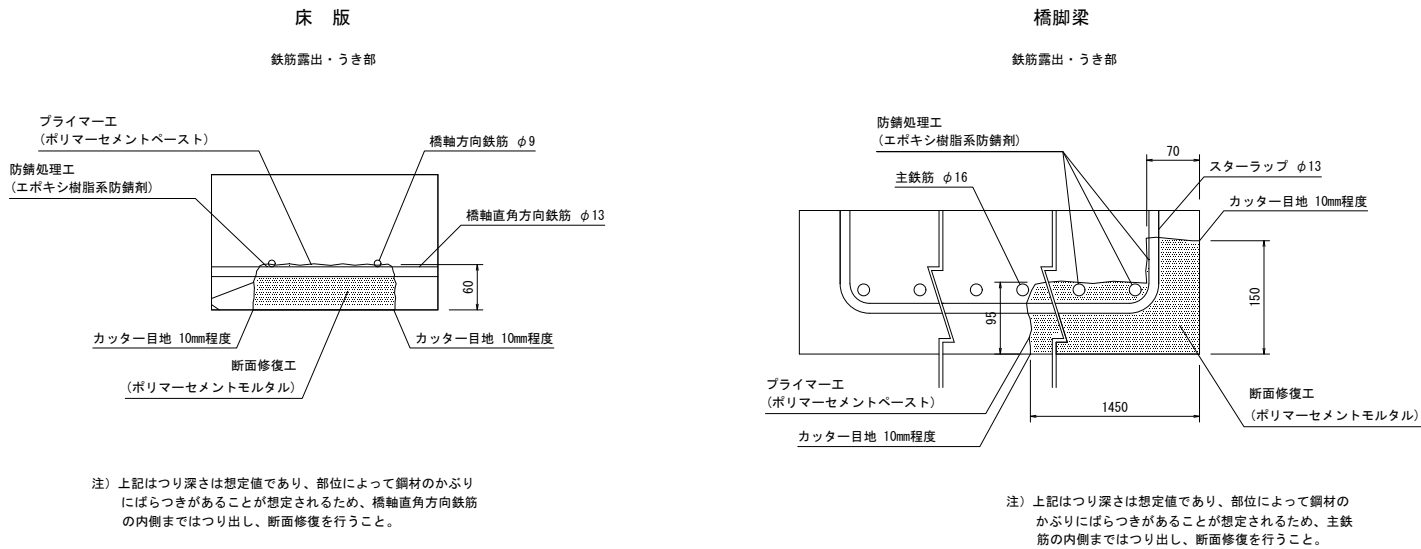
- 注) 1. ひび割れ位置及びひび割れ延長については、施工着手前に再度確認し、必要に応じて補修計画の見直しを行うこと。
2. 表中のひび割れ深さは想定値であるため注入にあたっては、適切な方法で注入完了を確認のうえ作業を終了すること。
3. 断面修復の範囲及び深さについては、施工着手前に再度確認し、必要に応じて補修計画の見直しを行うこと。

認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市益田町・安養寺町		
図面名	五号橋 補修工図（その1）		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内15		
長浜市都市建設部道路河川課			

五号橋 補修工図（その2）

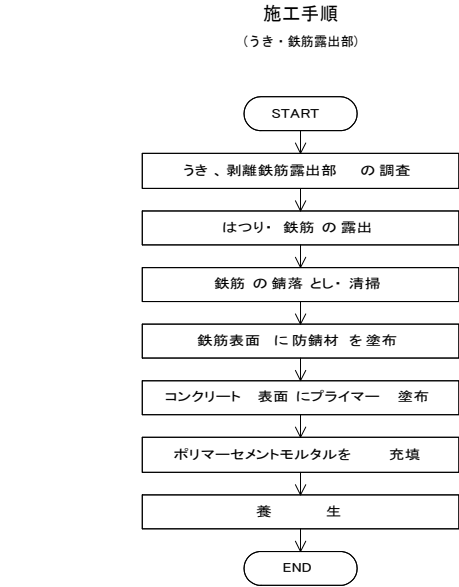
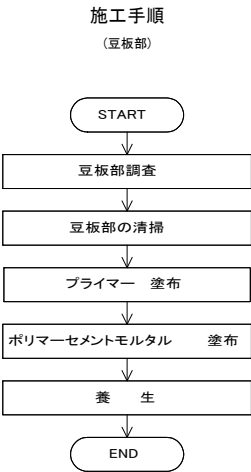
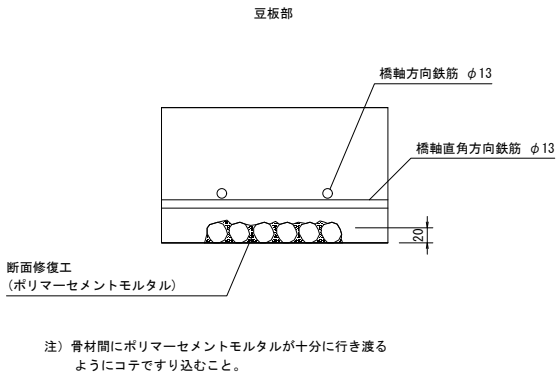
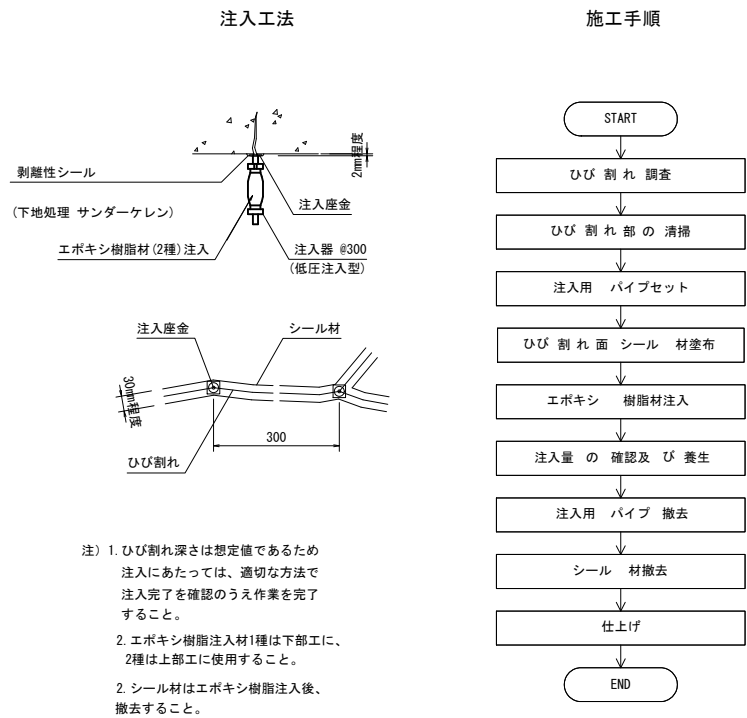
断面修復工要領図

S=1:5



ひびわれ補修工施工要領図

S=1:5



断面修復材(ポリマーセメントモルタル)

NEXCO構造物施工管理要領

試験項目	規格値
ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと
コンクリートの付着性	1.5N/mm ² 以上
鉄筋背面への充填性	有害な空隙がないこと
寸法安定性	0.05%以下
熱膨張性	2×10 ⁻⁴ /℃以下
中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等
凍結融解抵抗性	負荷後の相対弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上 ²⁾
塩塩性	補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等
圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上
静弾性係数	補修設計定めた値と同等

注入材の品質規格

道営県土木交通部道路課 橋梁修繕マニュアル

項 目			単位	2 種	試験方法	
ひび割れ進行区分 ^{注1)}			—	進行度 B	—	
ひび割れ幅			mm	0.2～5.0	—	
未 硬 化 の	注 入 材	粘土(×10 ⁻³)	Pa・S	—	JIS K 6833	
		チキソトロピック係数 ^{注3)※}	—	4 ± 1	JIS K 6833	
		可使用時間 ^{注4)※}	min	30以上	温度上昇法 ^{注5)}	
		収縮率	%	3.0以下	JIS A 6024	
硬 化 し た	注 入 材	伸び率		%	50以上	JIS K 7161, JIS K 7162
		モルタル付着強さ	乾燥面	N/mm ²	6以上	JIS A 6024
			湿潤面	N/mm ²	3以上	JIS A 6024
		付着耐久性保持率		%	60以上	JIS A 6024

※これらの項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものとしないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができる。

注1) ひび割れ進行区分

進行度A：日変化または温度変化によるひび割れの挙動および構造に起因するひび割れの発生を対象とし、異常なひび割れ幅の進行がないもの。

進行度B：完全にひび割れの進行が止まった保証が得られない場合。

進行度C：ひび割れ幅の増加が進行している場合。

注2) 0.5mm以上のひび割れは別途考慮することとしているが、材料は5.0mmまで対応するものを示した。

注3) チキソトロピック係数とは、液状試料の揺曳性の程度を表す。試験方法は、JIS K 6833を準用し、同一ローターでの2rpmにおける粘土と20rpmにおける粘土の比をチキソトロピック係数とする。

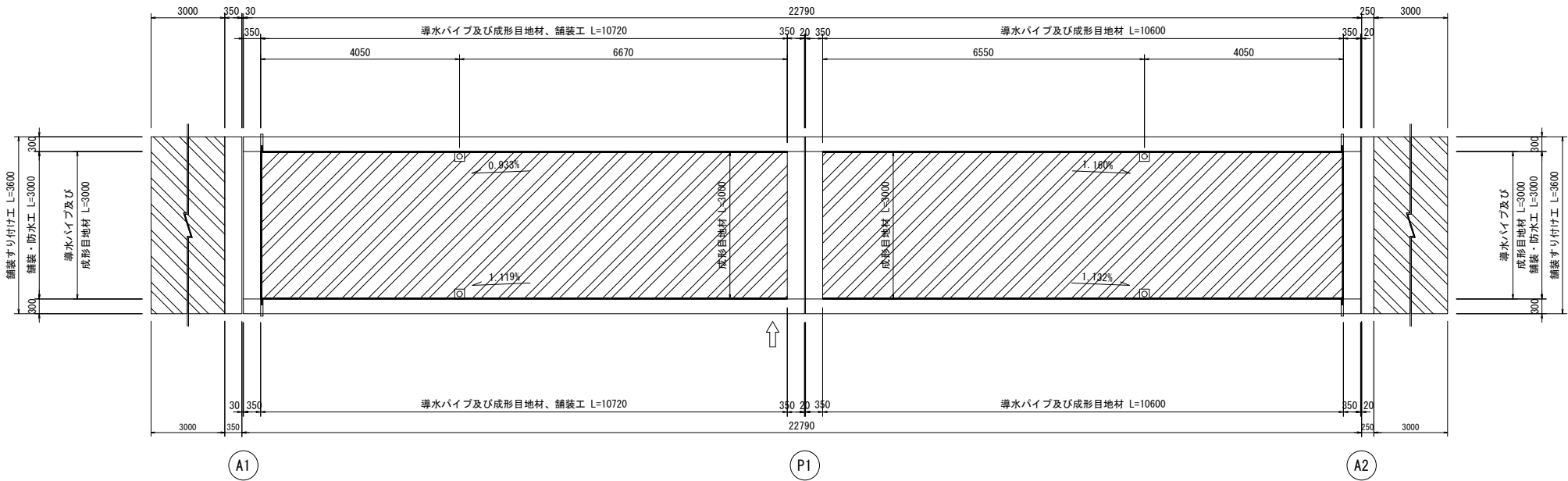
注4) 機械式注入工法の場合は、可使用時間の規定は適用しない。

注5) 温度上昇法とは、混合物の試料300gを500ccのポリ容器に採取し、試料の中央部に温度計または熱電対温度計を設置し、一定時間ごとに試料の発熱温度を測定する。測定開始時間は開始からとする。発熱温度が急激に立ち上がる試料は、その立ち上がり時間の70%を可使用時間とする。発熱温度の急激な立ち上がりのない資料は、最高発熱温度到達時間の50%を可使用時間とする。

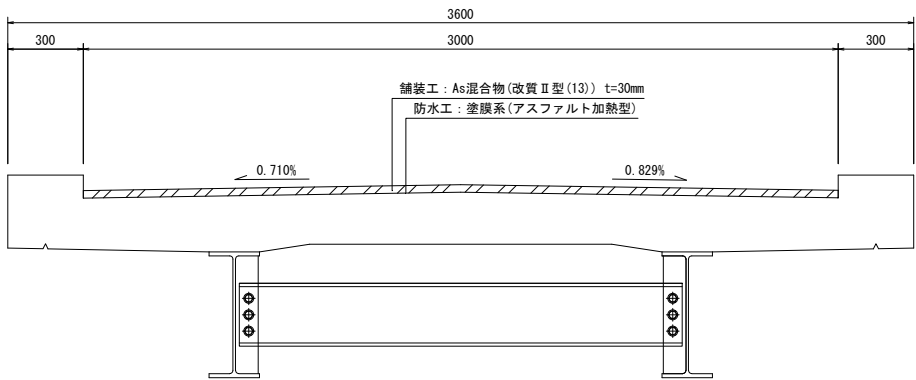
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第29号		
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市益田町・安養寺町		
図面名	五号橋 補修工図（その2）		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内16		
長浜市都市建設部道路河川課			

五号橋 舗装・防水工図

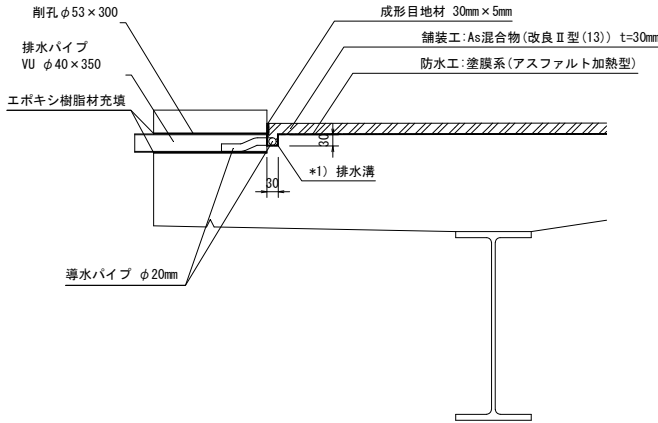
橋面図 S=1:60



橋面図 S=1:15



舗装端部構造図 S=1:10



*1):コンクリート舗装を幅30mm、深さ30mm程度ではつり取り、
導水パイプを設置するスペースを設けるものとする。

床版防水材品質規格

(社)日本道路協会
道路橋床版防水便覧 (H19.3)

試験項目	規格値
防水性試験	1 試験温度 23℃ 減水量0.2ml以下
	2 試験温度 23℃ 漏水がないこと
ひび割れ 追従性試験	1 試験温度-10℃ 床版防水座の折損が生じないこと
	2 試験温度-10℃ 追従限界ひび割れ幅0.3mm以上
引張接着試験	試験温度 23℃ 強度0.6N/mm2以上
	試験温度-10℃ 強度1.2N/mm2以上
せん断試験	試験温度 23℃ 強度0.15N/mm2以上
	試験温度 23℃ 変位量1.0mm以上
	試験温度-10℃ 強度0.8N/mm2以上
	試験温度-10℃ 変位量0.5mm以上
水浸引張接着試験	試験温度 23℃ 水浸前の50%以上
耐薬品性試験	試験温度 23℃ 異常のないこと

注) 防水性試験1、2及びひび割れ追従試験1、2は、それぞれ
1または2のいずれかの方法によってよい。

舗装・防水工数量表

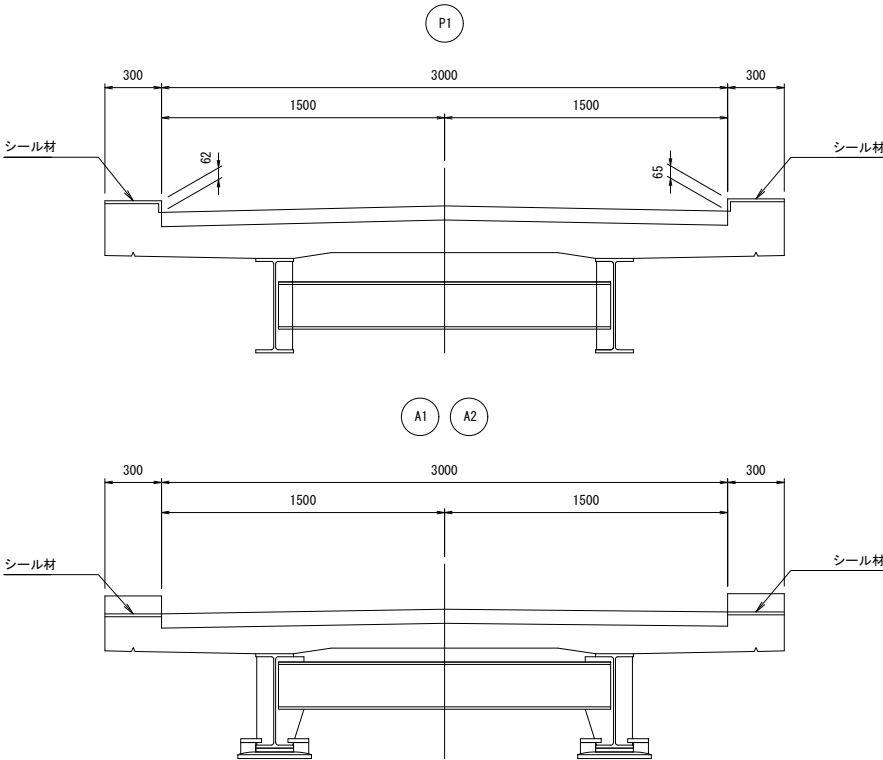
工 程	品 名	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗装工	As混合物(改質Ⅱ型(13))	t=30mm	m ²	64	橋面部
	不陸整正	t≒30mm	m ²	22	すりつけ部
	As混合物(再生密粒度(13))	t=50mm	m ²	22	すりつけ部
床版防水工	塗膜系防水層	アスファルト加熱型	m ²	64	
	導水パイプ	樹脂製φ20	m	49	
	成型目地材	30mm×5mm	m	55	
	排水パイプ	VU-φ40mm	本	1	定尺4.0m

- 注) 1. 工事着手前に、橋面勾配の再計測を行い、橋面隅角部に滞水しないように必要に応じて導水パイプ、排水パイプの配置を見直すこと。
2. 排水管の側面にφ20mm程度の孔をあけ、導水パイプを差し込むこと。
3. 舗装すり付け範囲及びすり付け舗装厚は、現場の状況に応じて、適宜見直すこと

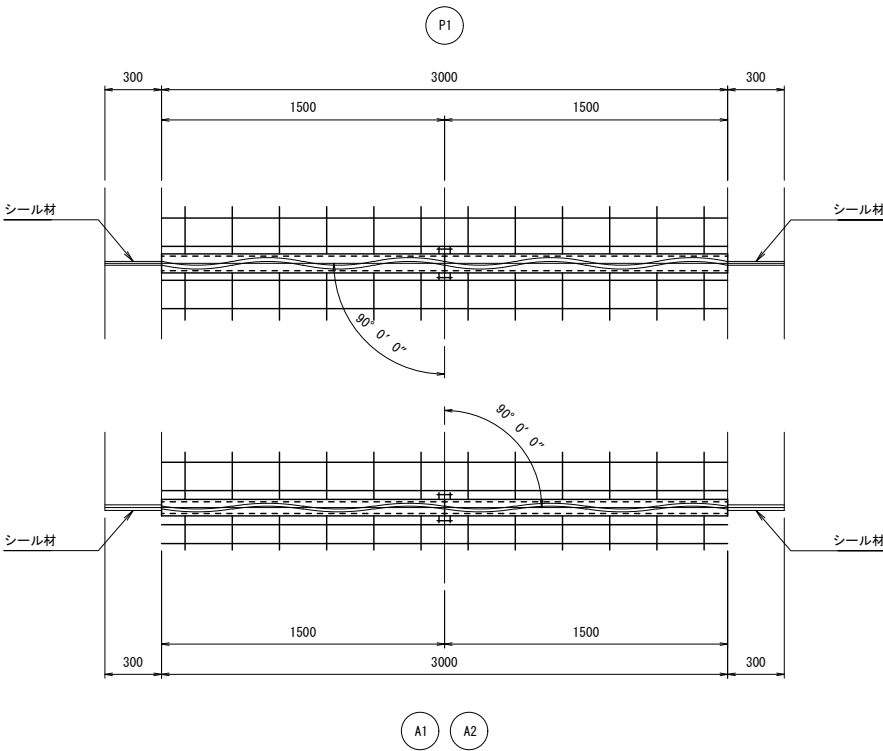
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁(嵯峨山橋他)補修工事		
地名	長浜市益田町・安養寺町		
図面名	五号橋 舗装・防水工図		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内17		
長浜市都市建設部道路河川課			

五号橋 伸縮装置工図

断 面 図 S = 1:20

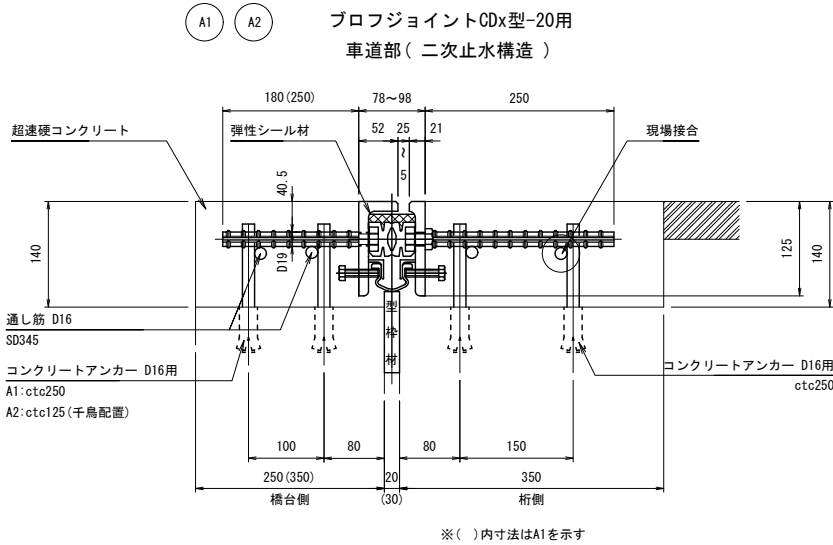


平 面 図 S = 1:20

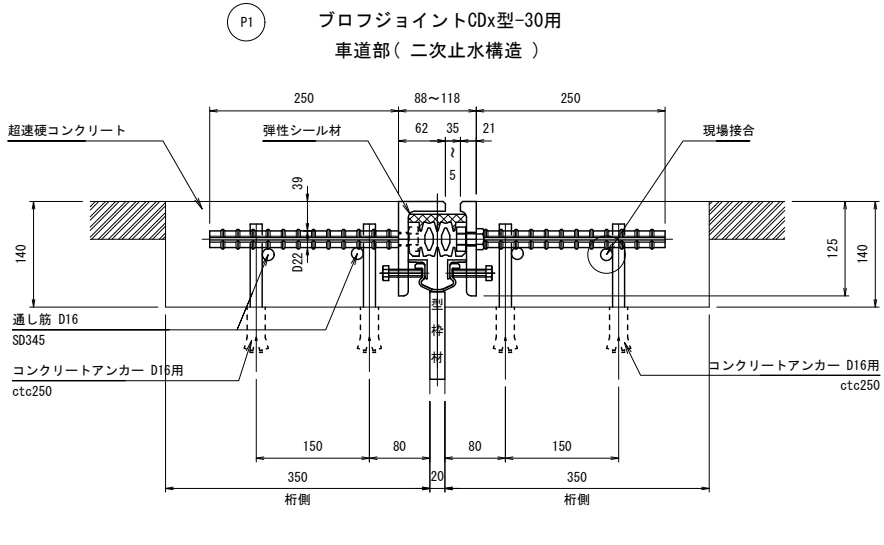


伸 縮 継 手 断 面 図 S = 1:5

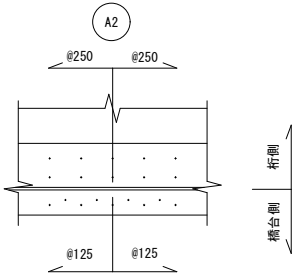
(参考図)



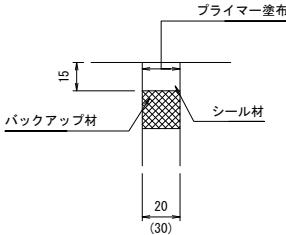
※()内寸法はA1を示す



アンカー筋埋設図 S=1:30

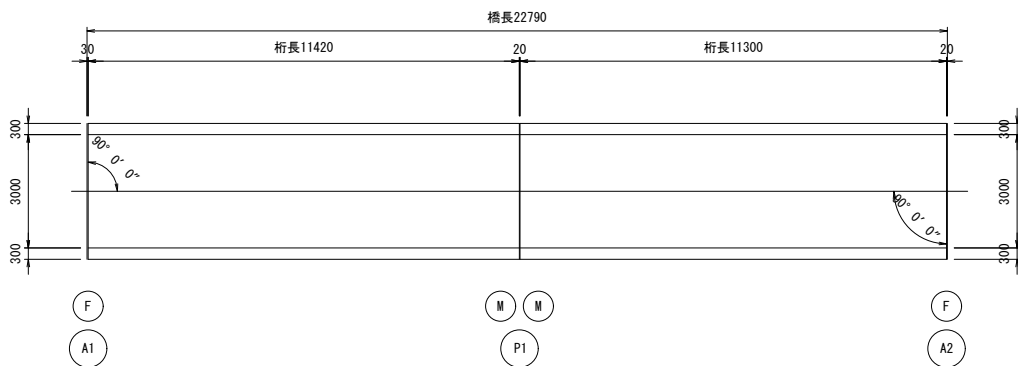


シーリング材充填図 S = 1:2



※()内寸法はA1を示す

位 置 図



伸 縮 継 手 材 料 表

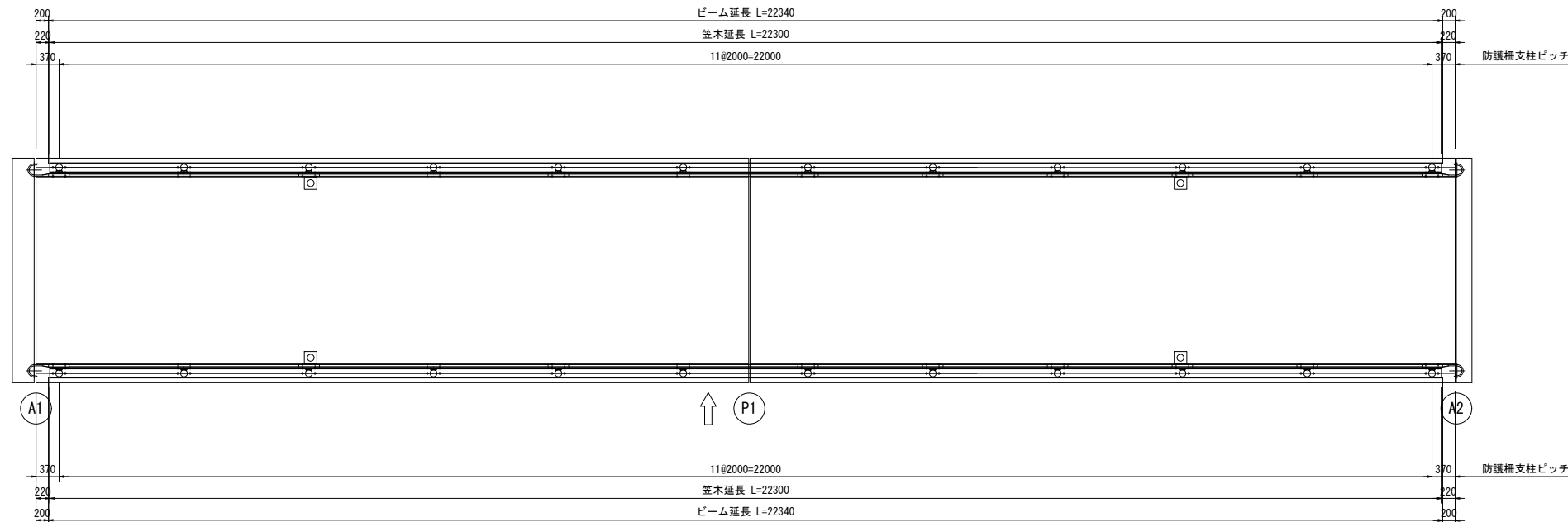
名 称	材 質	A 1 数 量	P 1 数 量	A 2 数 量	合 計 数 量	備 考
プロフジョイントCDx型-20用	S5400 合成ゴム SD345 弾性シーリング材	3.000 m		3.000 m	6.000 m	車道用, 二次止水構造, 通し筋を含む
プロフジョイントCDx型-30用	"		3.000 m		3.000 m	車道用, 二次止水構造, 通し筋を含む
シーリング材	シリコン系	0.27リットル	0.18リットル	0.18リットル	0.63リットル	地覆部
超速硬コンクリート		0.29 m3	0.29 m3	0.25 m3	0.83 m3	
コンクリートアンカー D16用		48 本	48 本	48 本	144 本	

注) 伸縮継手長さは、現地測量後決定する事。
注) 既設伸縮継手の後打ちコンクリートは撤去する事。

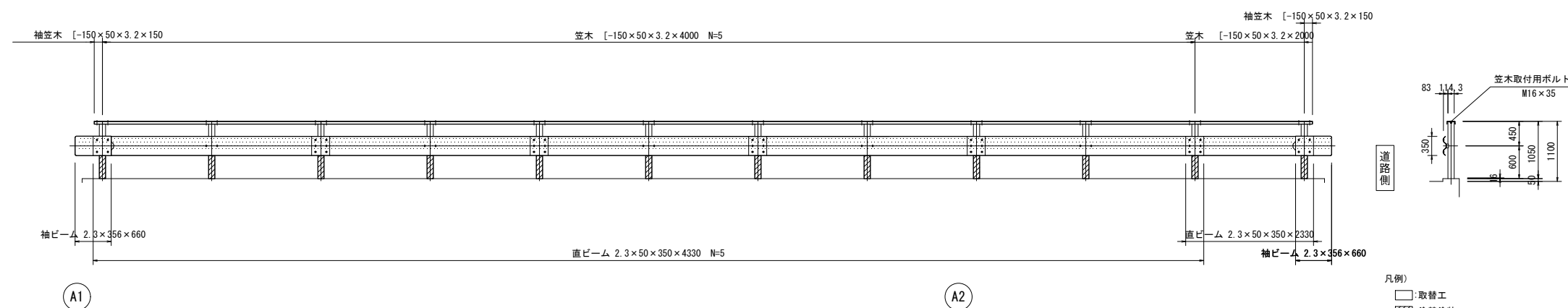
認 可 実 施	当 初	第 回変更
年 度 番 号	令 和 4 年 度	道 河 第 29 号
路 線 名	市道益田堂建線	
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事	
地 名	長浜市益田町・安養寺町	
図 面 名	五号橋 伸縮装置工図	
縮 尺	図 示	
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 18	
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課		

五号橋 防護柵工図

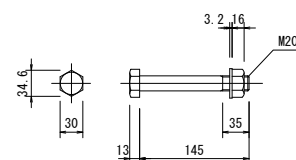
平面图 S=1:50



側面図 S=1:50

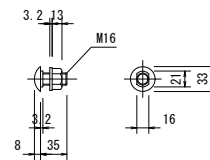


ブラケット取付用B.N.W. (4. 6)



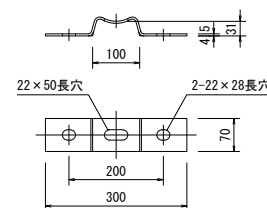
S=1:5

ビーム取付用B. N. W. (6. 8)



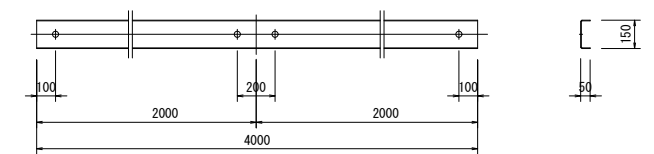
S=1:5

ブラケット

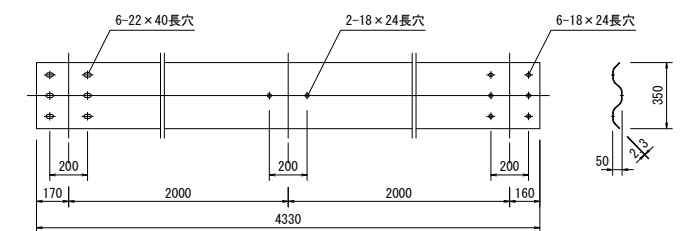


S=1:8

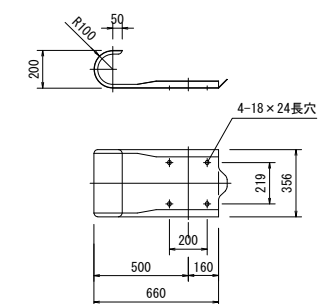
笠木 S=1:20



ビ-ム S=1:20



袖ビーム S=1:20



注) 1. 防護柵支柱は存置し、塗替塗装を行った後、笠木、直ビーム及び袖ビームは取り替えるものとする。

塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	3種ケレン		4時間以内
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

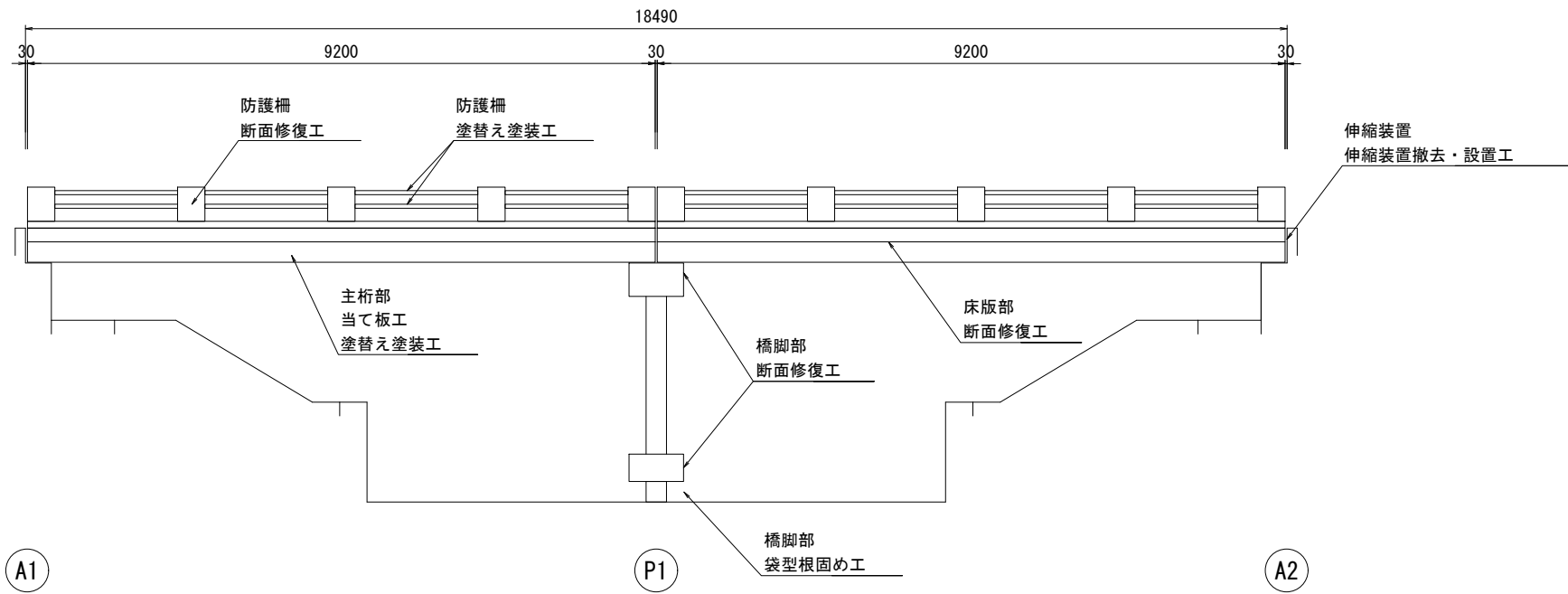
数量表

工 種	仕 様	単位	数量	摘要
塗装塗替工	Rc-Ⅲ塗装系	m ²	9.0	

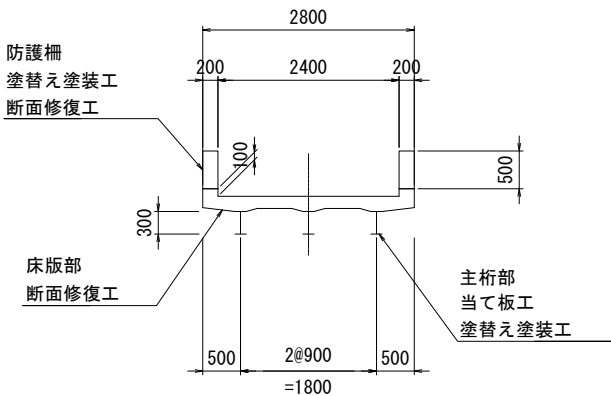
認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度 道河第29号		
路線名	市道益田堂建線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市益田町、安養寺町		
図面名	五号橋 防護柵工図		
縮尺	図示		
図面番号	25 枚 / 内 19		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

堂前橋 補修一般図 S=1:50

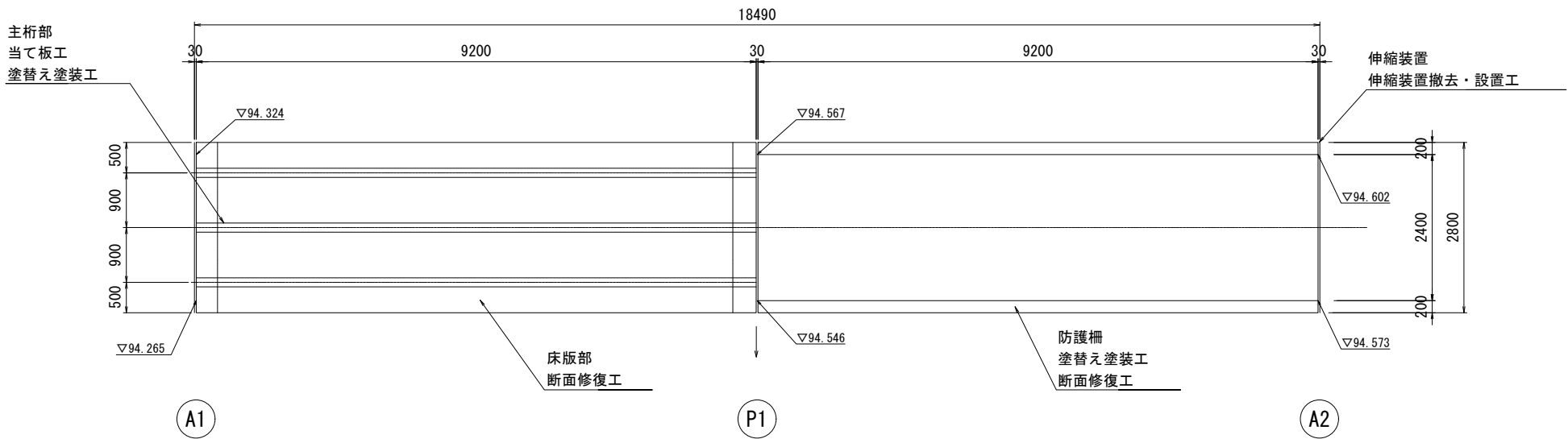
側 面 図



断 面 図



平 面 図



部 材 名	対 策 工
主 桁 部	当て板工 塗替え塗装工
床 版 部	断面修復工
橋 脚 部	断面修復工 袋型根固め工
伸縮装置	伸縮装置撤去・設置工
防 護 柵	塗替え塗装工 断面修復工

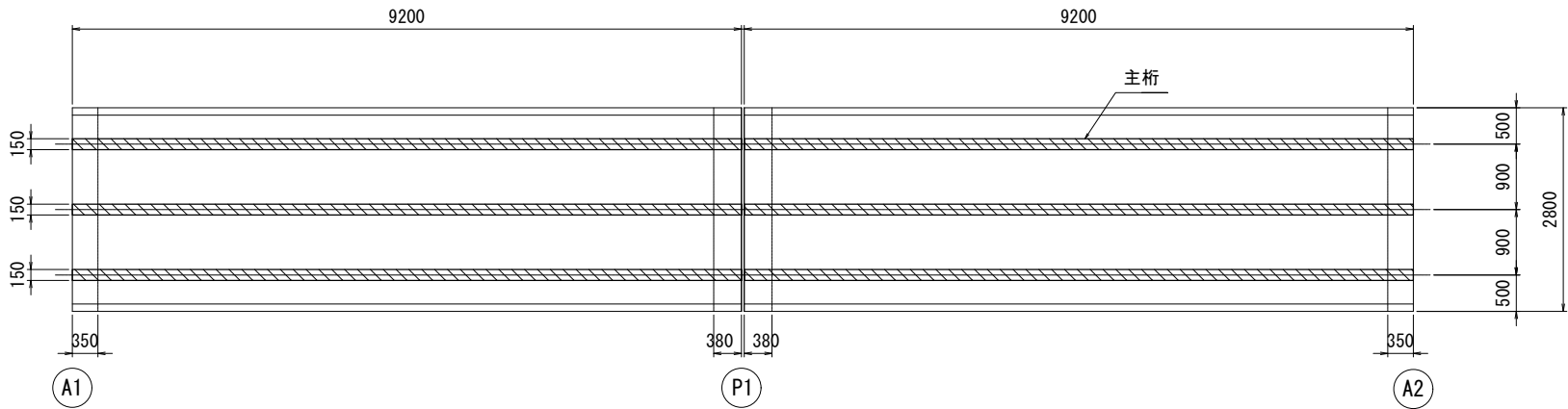
※平面図に表記の高さは、路面高さを表す。

認 可 実 施	当 初	第	回変更
年 度 番 号	令和 4 年 度 道河第 29 号		
路 線 名	市道留目6号線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市湖北町留目		
図 面 名	堂前橋 補修一般図		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 20		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

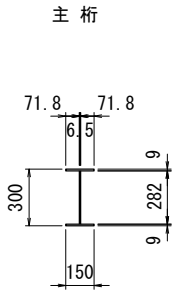
堂前橋 補修図(1) S=1:50

塗替え塗装工

桁 下 面



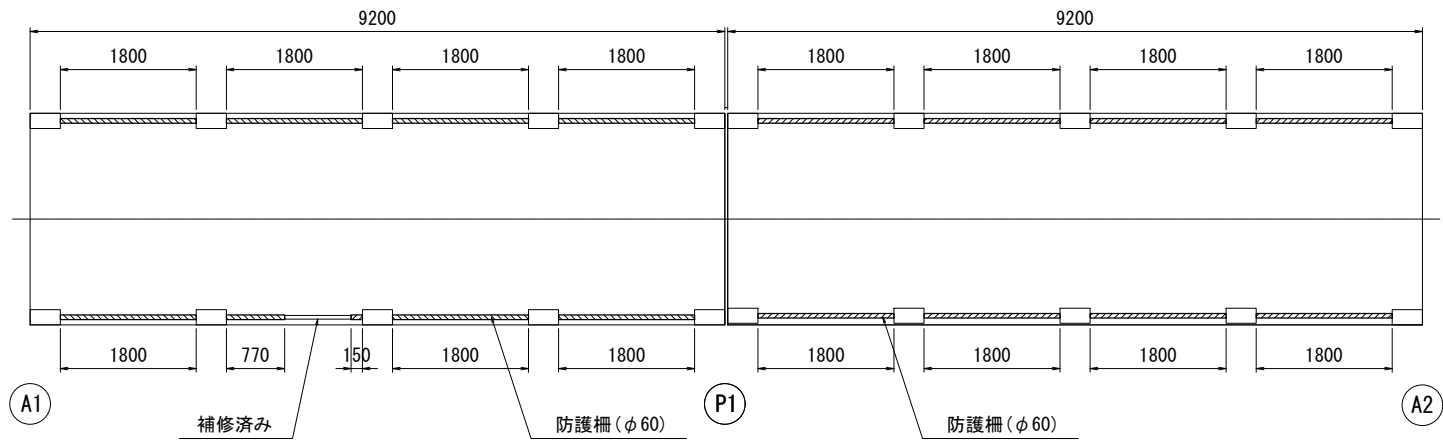
断面形状 S=1:5



Rc-II 塗装系 (はけ, ローラー)		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	塗膜剥離剤	
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	(240)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120

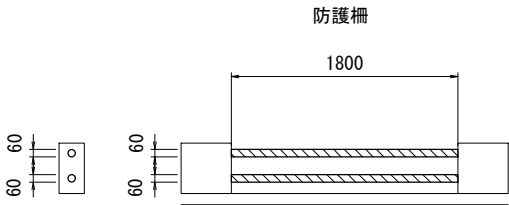
※1: 素地調整は程度は2種であるが健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m²程度とする。
素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m²とする。

橋 面



防護柵塗替え		
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)
素地調整	3 種	
下 塗	鉛系錆止めペイント	140
中 塗	長油性フタル酸樹脂塗料中塗り	120
上 塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗り	110

断 面 図 S=1:30

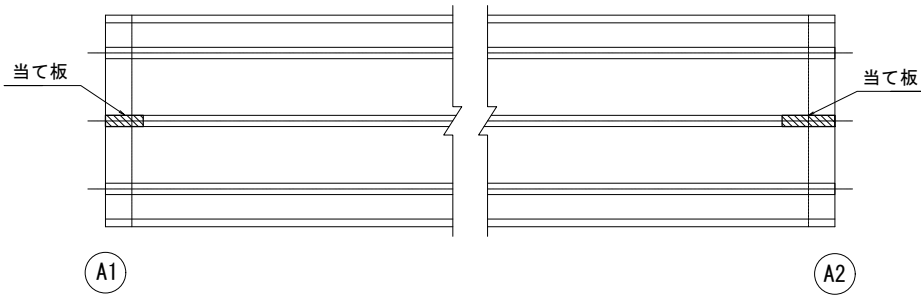


認 可 実 施	当 初	第	回変更
年 度 番 号	令和 4 年 度 道河第 29 号		
路 線 名	市道留目6号線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市湖北町留目		
図 面 名	堂前橋 補修図(1)		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 21		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

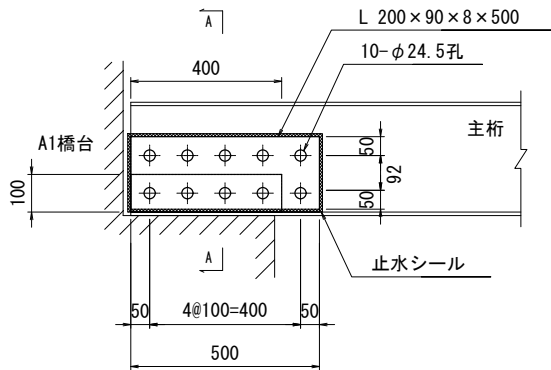
堂前橋 補修図(2)

当て板工

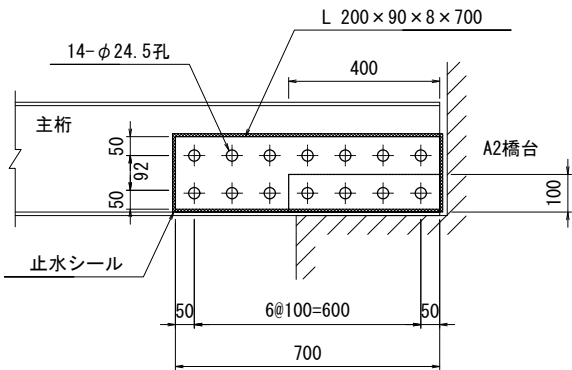
桁 下 面 S=1:50



詳 細 図 S=1:10



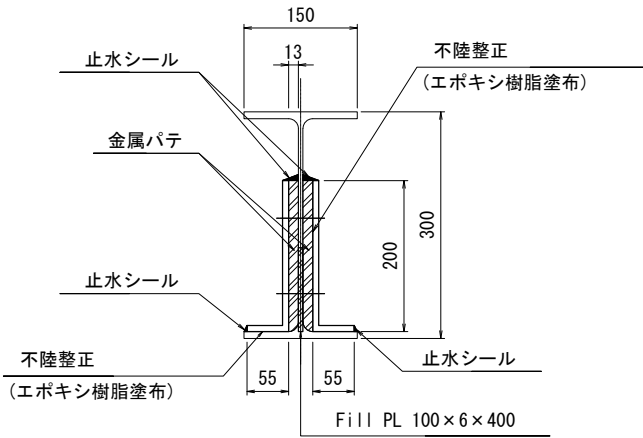
2-L 200x90x8x500 (SS400)
1-Fill PL 100x6x400 (SS400)
10-TCB M22x85 (S10T)



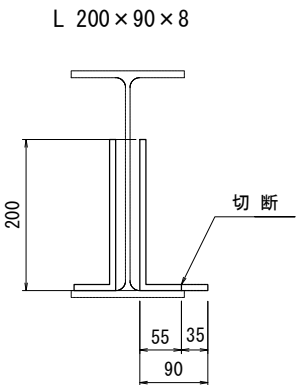
2-L 200x90x8x700 (SS400)
1-Fill PL 100x6x400 (SS400)
12-TCB M22x85 (S10T)

- ※1 製作,設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。
※2 アンカーボルト部は切り欠き加工を行うこと。
※3 当て板が接する既設面は、ケレン後エポキシ樹脂系接着材を塗布し不陸整正を行う。
※4 母材の欠損部は、当て板前に金属パテにより断面修復を行い、出来るだけ大きな不陸を解消しておく。

A-A断面 S=1:5



切断位置図 S=1:5



認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道留目6号線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市湖北町留目		
図面名	堂前橋 補修図(2)		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内22		
長浜市都市建設部道路河川課			

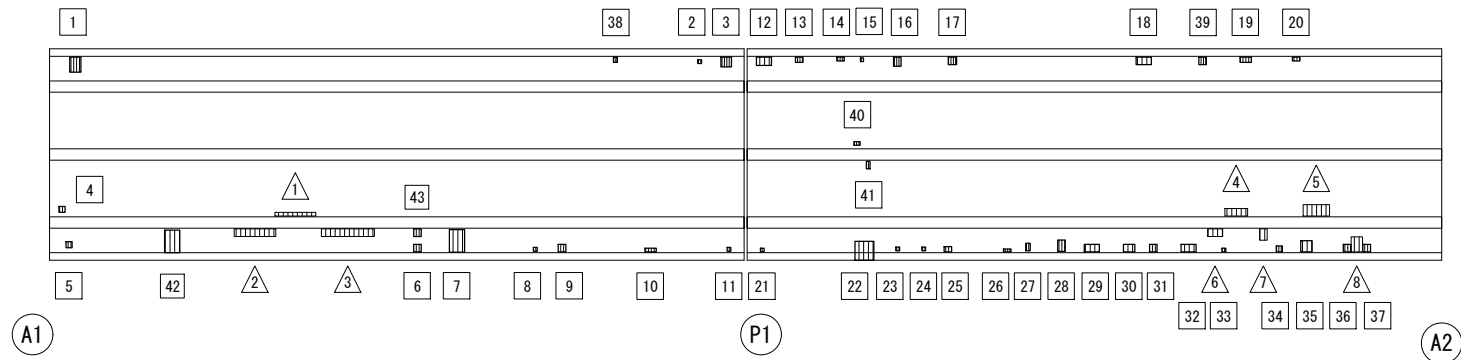
堂前橋 補修図(3)

S=1:50

断面修復工

断面修復工

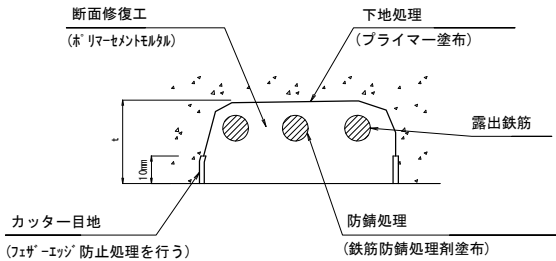
桁 下 面



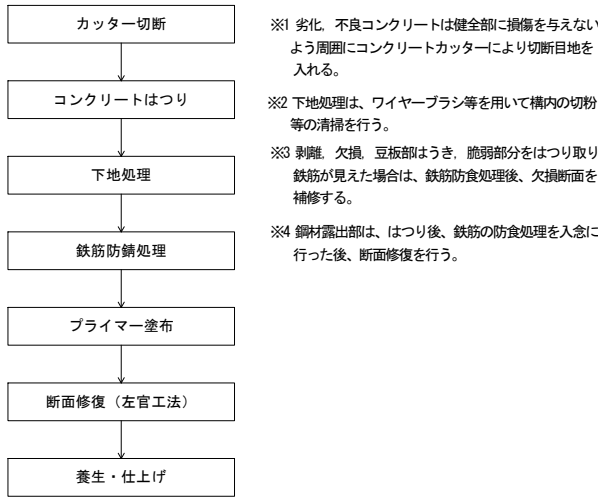
凡例

断面修復工 (ポ リマーセメントモルタル)

断面修復工



施工手順(参考)



断面修復工

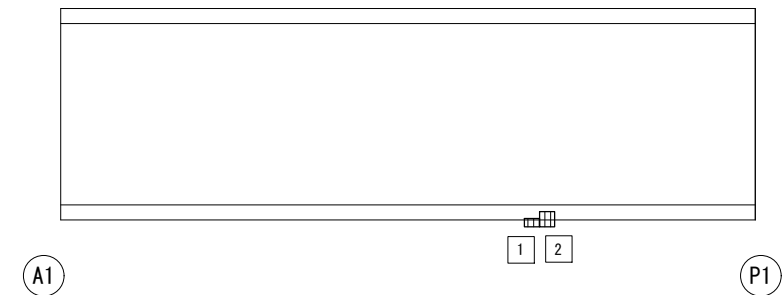
【豆板】					
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	備 考	
				カッター目地	材 料
△1	540 × 50 × 10	0.027	0.00027	両 側	ポ リマーセメントモルタル
△2	550 × 100 × 10	0.055	0.00055	〃	〃
△3	700 × 100 × 10	0.070	0.00070	〃	〃
△4	300 × 100 × 10	0.030	0.00030	〃	〃
△5	350 × 150 × 10	0.053	0.00053	〃	〃
△6	100 × 200 × 10	0.020	0.00020	〃	〃
△7	100 × 150 × 10	0.015	0.00015	〃	〃
△8	150 × 200 × 10	0.030	0.00030	〃	〃
合 計		0.300	0.00300		

断面修復工

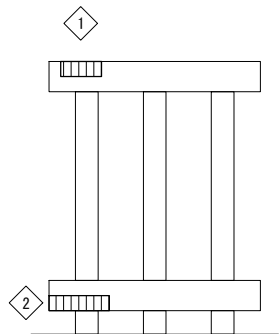
【剥離・鉄筋露出】		【うき】		備 考	
番号	寸法(1箇所あたり) (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	カッター目地	材 料
				両 側	ポ リマーセメントモルタル
1	150 × 200 × 30	0.030	0.00090	〃	〃
2	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
3	140 × 130 × 30	0.018	0.00054	〃	〃
4	80 × 80 × 30	0.006	0.00018	〃	〃
5	80 × 80 × 30	0.006	0.00018	〃	〃
6	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
7	200 × 300 × 30	0.060	0.00180	〃	〃
8	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
9	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
10	100 × 50 × 30	0.005	0.00015	〃	〃
11	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
12	200 × 110 × 30	0.022	0.00066	〃	〃
13	100 × 70 × 30	0.007	0.00021	〃	〃
14	100 × 50 × 30	0.005	0.00015	〃	〃
15	40 × 50 × 30	0.002	0.00006	〃	〃
16	100 × 120 × 30	0.012	0.00036	〃	〃
17	110 × 100 × 30	0.011	0.00033	〃	〃
18	200 × 100 × 30	0.020	0.00060	〃	〃
19	150 × 70 × 30	0.011	0.00033	〃	〃
20	100 × 50 × 30	0.005	0.00015	〃	〃
21	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
22	250 × 250 × 30	0.063	0.00189	片 側	〃
23	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	両 側	〃
24	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
25	100 × 70 × 30	0.007	0.00021	〃	〃
26	100 × 40 × 30	0.004	0.00012	〃	〃
27	60 × 100 × 30	0.006	0.00018	〃	〃
28	200 × 100 × 30	0.020	0.00060	〃	〃
29	100 × 150 × 30	0.015	0.00045	〃	〃
30	150 × 100 × 30	0.015	0.00045	〃	〃
31	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
32	200 × 100 × 30	0.020	0.00060	〃	〃
33	50 × 50 × 30	0.003	0.00009	〃	〃
34	80 × 80 × 30	0.006	0.00018	〃	〃
35	150 × 150 × 30	0.023	0.00069	〃	〃
36	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
37	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
38	50 × 70 × 30	0.004	0.00012	〃	〃
39	100 × 100 × 30	0.010	0.00030	〃	〃
40	80 × 50 × 30	0.004	0.00012	〃	〃
41	50 × 100 × 30	0.005	0.00015	〃	〃
42	300 × 200 × 30	0.060	0.00180	〃	〃
43	100 × 200 × 30	0.020	0.00060	〃	〃
合 計		0.573	0.01719		

認 可 実 施	当 初	第	回 変 更
年 度 番 号	令 和 4 年 度 道 河 第 29 号		
路 線 名	市 道 留 目 6 号 線		
工 事 名	橋 梁 (嵯 峨 山 橋 他) 補 修 工 事		
地 名	長 浜 市 湖 北 町 留 目		
図 面 名	堂 前 橋 補 修 図 (3)		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 ノ 内 23		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

断面修復工

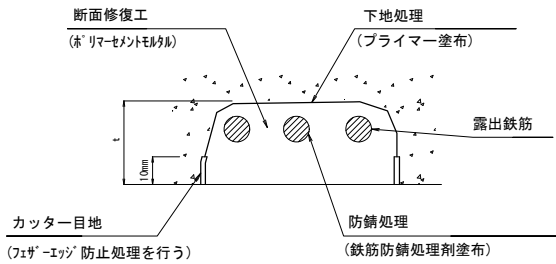


橋脚断面図

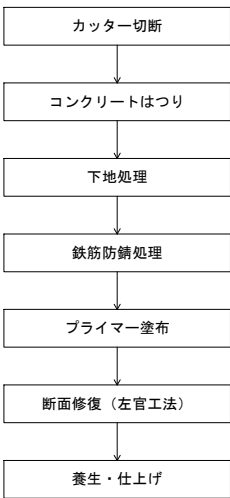


凡例
断面修復工（ホリマーセメントモルタル）

断面修復工



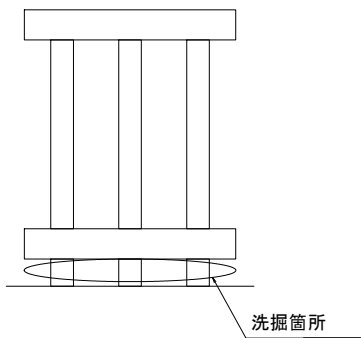
施工手順(参考)



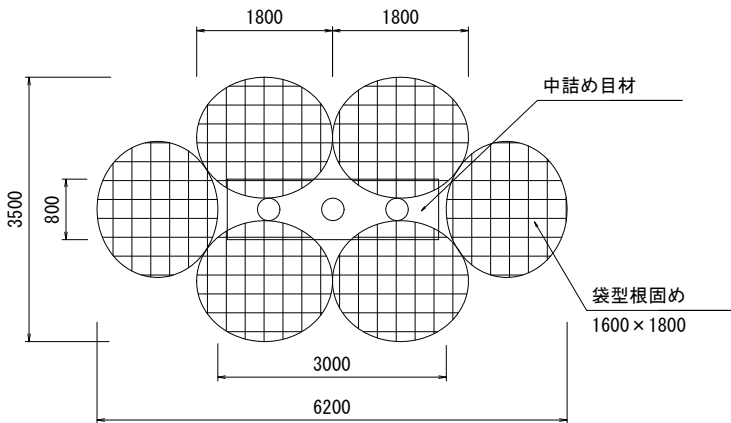
- ※1 劣化、不良コンクリートは健全部に損傷を与えないよう周囲にコンクリートカッターにより切断目地を入れる。
- ※2 下地処理は、ワイヤーブラシ等を用いて構内の切粉等の清掃を行う。
- ※3 剥離、欠損、豆板部はうき、脆弱部分をはつり取り鉄筋が見えた場合は、鉄筋防食処理後、欠損断面を補修する。
- ※4 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防食処理を入念に行った後、断面修復を行う。

袋型根固め工

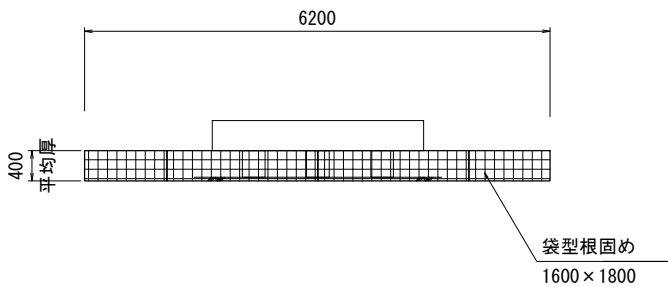
橋脚断面図



平面図



側面図



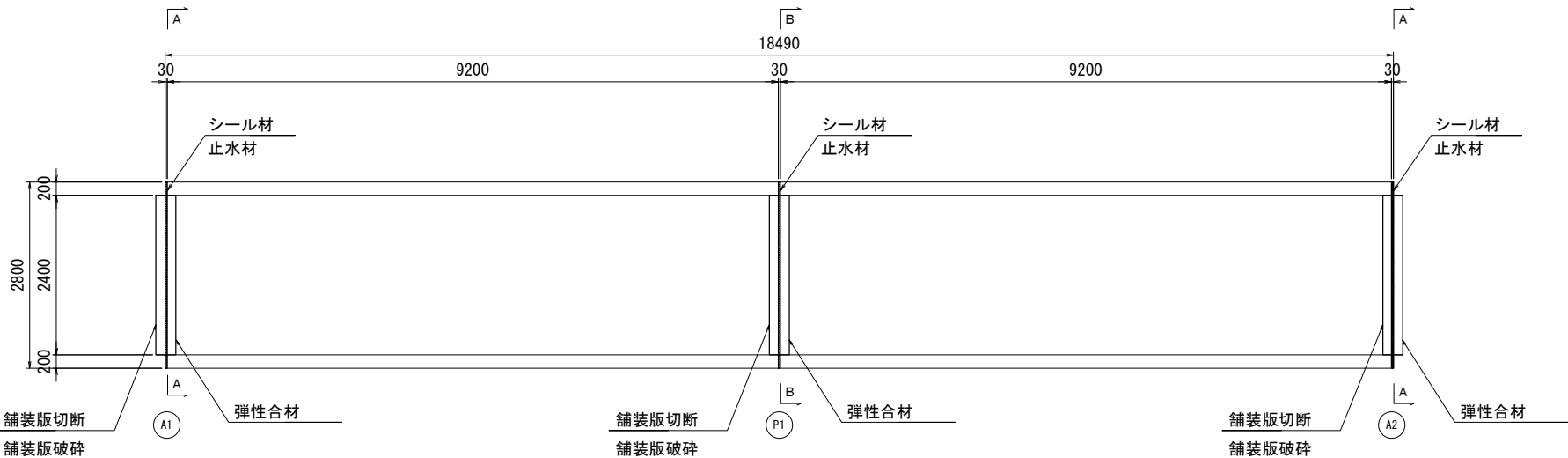
※ 製作、設置するにあたっては、現地寸法を確認の上行うこと。

認可 実施	当 初	第	回変更
年度 番号	令和 4 年度 道河第 29 号		
路 線 名	市道留目6号線		
工 事 名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地 名	長浜市湖北町留目		
図 面 名	堂前橋 補修図 (4)		
縮 尺	図 示		
図 面 番 号	25 枚 / 内 24		
長 浜 市 都 市 建 設 部 道 路 河 川 課			

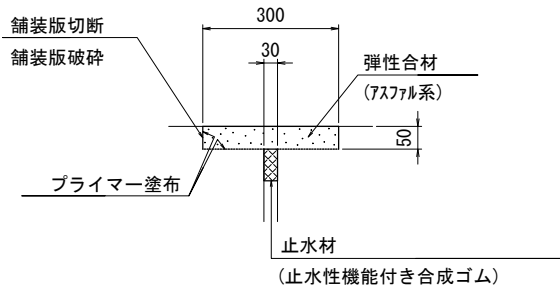
堂前橋 補修図(5) S=1:50

伸縮装置撤去・設置工

平面図 S=1:50

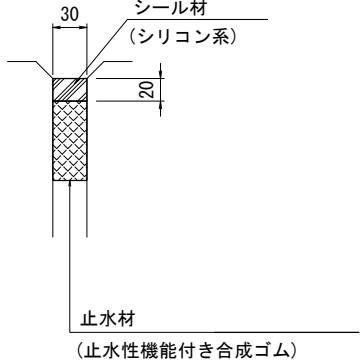


車道部断面図 S=1:5



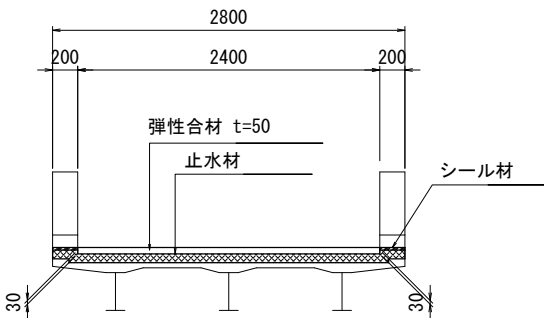
※1 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
※2 弾性合材舗設部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。

地覆部断面図 S=1:2

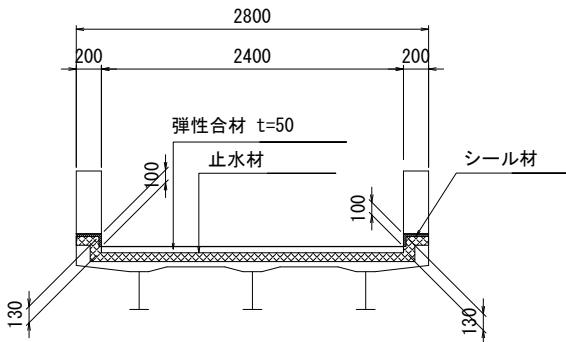


A-A
B-B 断面図 S=1:30

橋台部



橋脚部



認可実施	当初	第	回変更
年度番号	令和4年度	道河第29号	
路線名	市道留目6号線		
工事名	橋梁（嵯峨山橋他）補修工事		
地名	長浜市湖北町留目		
図面名	堂前橋 補修図(5)		
縮尺	図示		
図面番号	25枚ノ内25		
長浜市都市建設部道路河川課			